

高等小學地理書卷一  
 兒童用  
 文部省

375.9  
 Mo14  
 資料室

教科  
 32  
 200

42770

教科書文庫

4
290
32-1925
20000 14558

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



教科書文庫

4

290

32-1925

2000014558



# 高等小學地理書 卷一

兒童用

文部省

広島大学図書

2000014558



井手 上



地理教育の根底に立脚す。

教材研究の意義と其の実際

(金尾宗平氏)

地理教育の意義と其の根底

375.9  
M114

375.9  
M114

二 教材研究の必要

教材の要約、且つ複雑のもの必要、  
強い力と強い熱と湧き出すための研究

三 地理教育の根底に立脚す。教材研究の意義

中一義

立案、  
高一年以下(高)

「場所的根底」- 全体的概念的取扱  
「概念的」- 系統をつくり、地理法則

「地図とはをれを」- イト、之引、地図

意義 素材 - 加工

不消化材 - 消化材化

複雑な教材の簡單化

教材の簡單化

① 地理法則を教へるに「図化」  
② 地理法則を教へるに「図化」

2. 複雑な地図、簡單化

3. 複雑な教材の「」

4. 地図、系統化

5. 地図の特長化

6. 地理の果化 (数量、大化)

7. 地理区

8. 地理、利用  
地名、読み方、サハラ、ナハ、イルクワ



廣大書庫  
圖書印

資料室

第一 目錄

第一 亞細亞洲	一 總論	二 支那	七三
	四 中亞細亞	コーカシヤ	二九五
	六 イラン地方	三二七	印度
	九 馬來諸島	四十	印度支那
	大洋洲	一 濠太刺利	四十三
		二 本洲の諸島	四十六
第二 歐羅巴洲	一 總論	五十	二 東部歐羅巴
	三 瑞典諾威	丁抹	六十
	四 獨逸	六十	五 奧地利
	洪牙利	チエッコ	スロバキヤ
	七 佛蘭西	七十	八 白耳義
	和蘭	七十四	九 英吉利
	十 西班牙	葡萄牙	八十一
	十一 伊太利	八十三	十二 バルカン半島諸國
	八十六	阿弗利加洲	八十九
第四 北亞米利加洲	一 總論	九十八	二 加奈陀
	百三	三 亞米利加合衆國	百六
第五 墨西哥中央亞米利加諸國	西印度諸島	百十一	南亞米利加洲
	百十四		



高等小學地理書 卷一 兒童用

第一 亞細亞洲

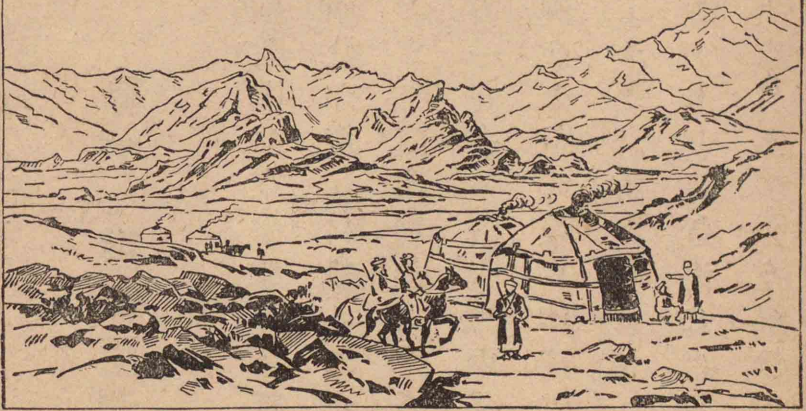
一 總論

位置・面積  
亞細亞洲は東半球の北部にあり。北は北極海に、東は太平洋に、南は印度洋に臨み、西は歐羅巴に續き、又僅にスエズ地峽によりて阿弗利加に連る。本洲は其の面積世界陸地の約三分の一を占め、六大洲中最も大なるものなり。

地勢  
本洲は太平洋及び印度洋の方面に於て、海岸線の出入甚だ著し。太平洋方面にはカムチヤカ半島、朝鮮半島、印度支那半島等あり。其の近海には日本列島、馬來諸島等ありて、オホーツク海、日本海、東支那海、南支那海等を限る。印度洋方面には

一 褶曲帯  
二 断層  
三 沈降地帯

（印名、マヤ）



南に走れるヒマラヤ山脈は最も雄大にして、脈中にはエベ

印度半島の突出せるあり。又此の半島の西北には亞刺比亞半島ありて、阿弗利加との間に紅海を挾む。

ミ本洲の中央部は土地一般に甚ルだ高くして、山脈にも高原にも高大なるもの多く、これと海岸と原の間には所々に大低地あり。山脈の主なるものは、パミル高原を中心として四方に走り、本洲主要の分水嶺をなす。中にも東

高地一

高地一

レスト山を始め、世界屈指の高峯多し。ヒマラヤ山脈の北に崑崙山脈あり、パミル高原より東に向ひて、遠く太平洋岸に迫る。是等兩山脈の間には西藏高原あり、崑崙山脈の北には蒙古高原あり。パミル高原より東北に向ふ山脈に天山山脈あり。アルタイ其の他の諸山脈これと相連りて、ベーリング海峽に及ぶ。又パミル高原より西南に向ふものにヒンヅークシ山脈あり、イラン高原の北部を走りて小亞細亞に至る。』大河も亦多くは中央部に源を發して四方に流る。中にも黄河、揚子江は支那平野を流れ、黒龍江は西比利亞の東部を流れて、同じく太平洋に入り、ガンジス、インダスの兩河は、印度平野を流れて印度洋に入る。又オビ・エニセー等の諸河は、西比利亞の低地を流れて北極海に注ぐ。

ロシア人々  
とワリと

氣候

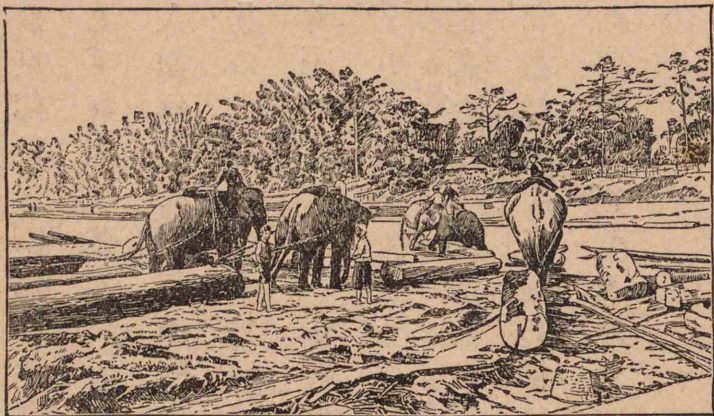
印度・亞刺比亞の兩半島は各、高原をなし、亞刺比亞高原はイラン高原との間にメソポタミヤ平野を挟む。此の平野を灌流するはチグリス・ユーフラテスの兩河なり。西藏・蒙古の高原、中亞細亞の低地には、大小數多の湖水ありて、諸川これに注ぐ。

本洲は土地廣く、地勢複雑なるが故に、各地の氣候一樣ならず。中央部の高地及び西比利亞の低地は、寒暑の差殊に甚だしく、西比利亞の低地には世界の最寒地と稱せらるゝ所あり。北部・中央部・西南部は概して降雨に乏しくして、地味やせ、沙漠草地廣く連れども、東南沿海の地方は一般に氣候温和にして、地味肥え、ヒマラヤ山脈の東南側と共に降雨多くして、植物の生育に適す。

高地一

生物・産物

生物は大いに氣候の影響を受けて、所により其の趣を異に



象の木の材運搬

す。南部より東南部にかけては植物の成長盛にして、椰子樹がじまゝる。チーク等の熱帯樹木に富み、又米・茶等の農産物の額多し。此の地方の動物には象・猩々・鱷・孔雀等あり。中部の草地にては馬・駱駝・羊等の牧養行はる。これより北方に至るに隨ひ、生物次第に種類を減じ、極北部には僅に矮小なる樹木及び苔の類生じ、馴鹿・白熊等すめる

高地一

に過ぎず。

住民

住民は其の數九億に近くして、世界人口の過半を占め、多くは東部及び南部に住す。住民の中、亞細亞人種最も多く、主として東部に住し、又中央部に住するものも少からず。歐羅巴人種は之に次ぎ、印度半島及び其の以西に住す。馬來人種は其の數遙に少く、馬來諸島を主なる住地とす。

宗教

本洲に行はるゝ宗教は、其の主なるものを佛教・印度教・マホメット教・基督教とす。佛教は主として東部に行はれて、其の信徒甚だ多く、印度教は印度に、マホメット教は西部に盛なり。基督教は廣く各地に信徒を有すれども、其の數多からず。是等の宗教は何れも本洲に起りて、世界の大宗教となりたるものなり。

區分

本洲の獨立國には我が國・支那を除くの外に、暹羅・波斯等あ

高地一

高地一

れども、其の國勢甚だ振はず。是等獨立國以外の大部は歐米諸國の領土にして、英領印度・佛領印度・支那・蘭領印度・米領フィリピンは南部又は東南部にあり。又ソヴェト聯邦領西比利亞は北部にありて、本洲面積の三分の一以上を占む。

二 支那

支那は其の面積約七十一萬方里ありて本洲の四分の一、我が國の十六倍に當り、人口は世界總數の五分の一に及ぶ。

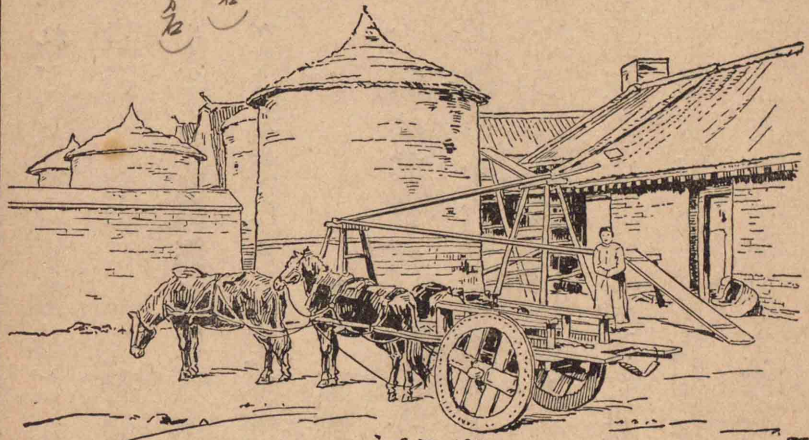
支那の大部は、山脈・高原ありて産業盛ならず。されど黃河・揚子江等の下流地方には支那平野あり、又其の南には珠江流域の平野、北には滿洲平野ありて、農業行はる。殊に支那平野は古來此の國の主要部をなし、中に都邑甚だ多し。海岸は渤海灣の遼東・山東の二半島に抱かるゝ外、大いなる出入なく、

地勢

面積・人口

産業

一般に自然の良港に乏し。



所藏貯豆大るあに洲滿

支那平野の中、揚子江流域と珠江流域とは、氣候温暖にして雨量に富み、米・茶・繭・綿の産出多し。随つて此の地方には所々に製絲製茶・絹織等の工業盛に行はれ、其の製品は支那の主要輸出品となり、上海・廣東・香港等より輸出せらる。支那平野の北部及び滿洲平野は雨少く、寒暑の差大なれども、豆類・高粱等を産すること多し。又國內一般に豚の

高地一

大豆  
滿州  
支那

世界  
五割 (二五〇万石)  
三割 (一五〇万石)

高地一

飼養行はる。

支那本部・滿洲には、石炭・鐵・銅・錫・石油等種々の礦物豊富にして、殊に石炭・鐵の如きは、世界有數の埋藏量あり。現今採掘せらるゝは、其の一小部分に過ぎざれども、其の産額近年著しく増加せり。鑛産地の中最も著るゝは、支那本部にては、中部にある大冶の鐵山、萍郷の炭坑、北部にある淄川・開平の炭坑等にして、滿洲にては撫順・本溪湖の炭坑、鞍山・本溪湖の鐵山等なり。

支那の輸出品は生絲・絹織物・茶等、輸入品は綿絲・綿織物・阿片等を其の主要なるものとし、其の貿易は英吉利及び其の領土を始め、日本・亞米利加合衆國等との間に盛なり。支那は我が國の主要なる取引先にして、我が國へは豆粕・綿・鐵等を輸

交通

出し、我が國よりは綿織物・綿絲・砂糖・石炭・銅・水産物・マツチ等を輸入す。

高原地方は一般に交通不便なれども、支那平野は水路・鐵道の便多し。殊に水路は揚子江の川筋に於て最も發達し、其の本流の河口より重慶に至るまで、およそ六百里の間は汽船を通じ、殊に漢口以下約二百八十里の間は、海洋を交通する大汽船も自由に之を上下す。有名なる大運河は揚子江・黃河等の下流を貫きて南北に通ず。其の長さ三百里に餘る。今尙交通上其の價值なきにあらず。

支那に於ける鐵道は年と共に延長して、支那本部・滿洲には數多の線路を見るに至れり。中にも京漢線と津浦線とは、各京奉線と相連りて幹線をなし、支那平野を南北に走る。漢口

高地一

高地一

住民



支那人婦と一輪車

より廣東に至る鐵道全通せば、京漢線と連絡して、支那本部を南北に縦貫すべし。滿洲には我が南滿洲鐵道の本線南北に通じ、長春にては東支鐵道に連絡し、奉天にては京奉線及び支線の安奉線と連絡して、世界交通の幹線をなす。海運も漸く盛になりたれども、支那人の自ら經營するものは尙多からず。

住民は其の數約三億五千萬に上り、中に漢族・滿洲族・蒙古族・西藏族等數多の種族あり。其の最も多數を占むるは漢族な



滿洲

吉林  
遼寧  
熱河

本

二十省一東  
内直隸  
河南北改稱

綏遠一四

甘肅一四

山西一四

二十八省一東

北京一北平

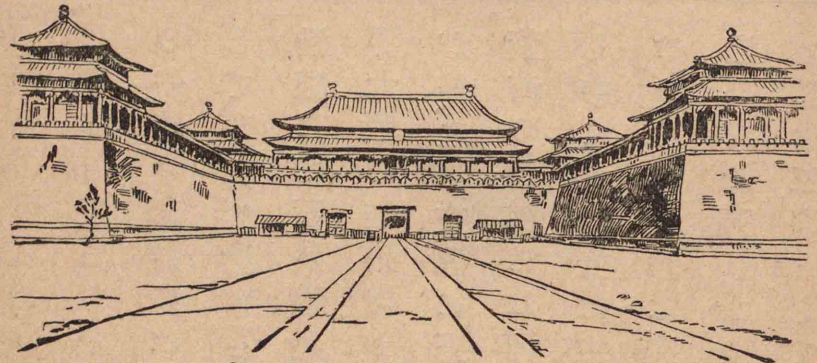
南京一南

政治

り。漢族及び滿洲族の多くは支那本部滿洲に住す。漢族は又海外に移住せるもの少からず。其の性質勤勉にして商業に長ず。此の種族の女子は纏足をなし、男子は滿洲族と同じく辮髪をなすの風習ありしが、近時其の風を改めたり。蒙古族は概ね蒙古に、西藏族は概ね西藏に住す。支那は教育未だ普及せざれども、近時漸く先進國に倣ひて各種の學校を設立し、又多數の留學生を諸外國に送りて、教育の進歩に努む。支那は古來君主專制なりしが、大正元年清朝亡びてより、共和政體に改りて大統領を戴く。中央政府には國務院、外交部、内務部、財政部、陸軍部、海軍部、教育部、司法部、農商部、交通部等あり。國會は參議院と衆議院とより成る。行政上全國を分ちて、支那本部、京兆及び十八省、川邊特別區域、滿洲三省、新疆一

高地一

支那本部  
北部



北京城内の一

省及び内蒙古、外蒙古、青海、西藏となし、各省には省長、督辦を置き、其の他にはそれ〴〵特別の官吏を駐在せしむ。支那本部は地勢上、北・中・南の三部に分たる。北部は黄河、白河等の流域に屬し、國內にて最も早く開けたる地方なり。北京は此の國の首府にして、白河の流域に位す。市街は内城、外城の二部に分れ、内城には舊皇城、官衙あり、外城には商店多し。天津は白河の河口より十數里の上流に臨みて、水陸交通の要地となし、北部第一の貿易港たり。其の東北

高地一

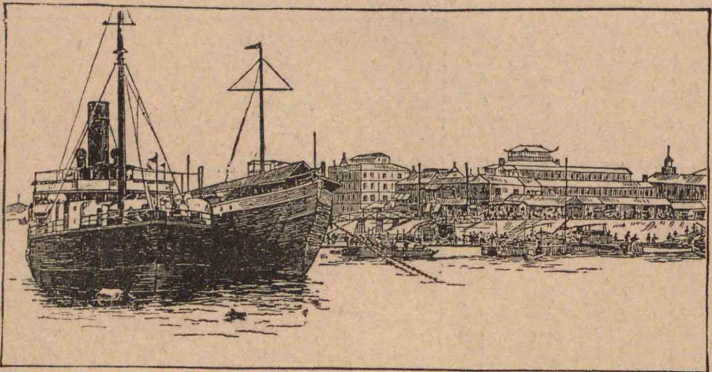
に開平の炭坑あり。芝罘は山東半島の北岸に位する港市にして、其の東にある威海衛は英吉利の租借せる港なり、又此の半島の南岸には膠州灣あり。獨逸はもと此の地方を租借して、青島の港市を開き、又鐵道を敷設して之を經營し、其の沿線にて石炭、鐵礦等を採掘するなど、勢力を伸ばしたり。世界大戰の結果、我が國は是等獨逸の利權全部を收めたりしが、後、之を支那に返附せり。

黄河の流域には河南(古の洛陽)、西安(古の長安)等歴史の上名高き都會多し。中にも西安は古來交通上の要地に當りて、一大都會をなせり。萬里長城は遼東灣の西岸に起り、略支那本部の北邊に沿ひて西方に走ること凡そ八百里、大運河と共に支那古代の二大工事として有名なり。

高地一

中部

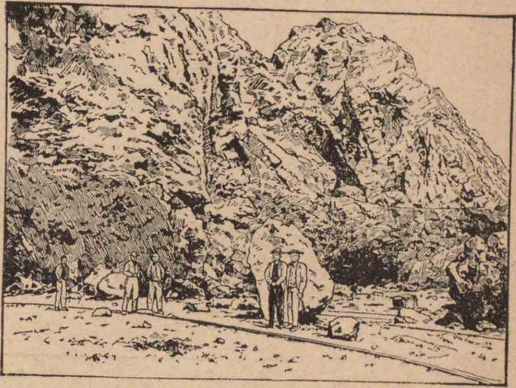
中部は主として揚子江の流域に屬し、産業上支那國中、最も



南京の埠頭

重要なる部分にして、繁盛なる都會多し。揚子江の河口に近き上海は此の國第一の貿易港にして、生絲、絹織物、綿茶を輸出し、綿絲、綿織物、阿片を輸入する額多し。又近時綿絲紡績其他の工業も發達す。上海の西に蘇州あり、西南に杭州あり。何れも絹織物の産地として知らる。蘇州の西北、揚子江の下流に臨みて江寧あり、一に南京と稱せらる。此の地は史上に名高き所にして、古來政治上の一中心地たり。

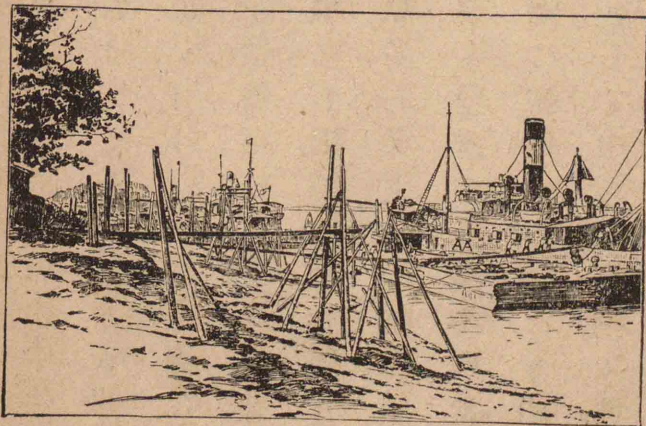
高地一



大冶鐵山

對岸には武昌漢陽あり、漢陽には有名なる漢陽製鐵所あり、武昌の東南には大冶鐵山あり、漢陽製鐵所にては鐵鑛を大冶より、石炭を萍郷より取る。又我が八幡の製鐵

揚子江の中流に臨みて漢口あり、水陸交通の要地にして、又商工業の大中心をなす。其の取引の盛なること上海に次ぎ、多く茶を輸出す。漢口の



大冶附近の揚子江岸に於ける鐵鑛の積み込み

高地一

高地一

所も多く原料を大冶に仰ぐ。揚子江上流に臨みて重慶あり、汽船は宜昌より江を溯りて此の地に至る。重慶の西北にある成都是、揚子江上流地方の中心都市にして、絹織物の名産地たり。

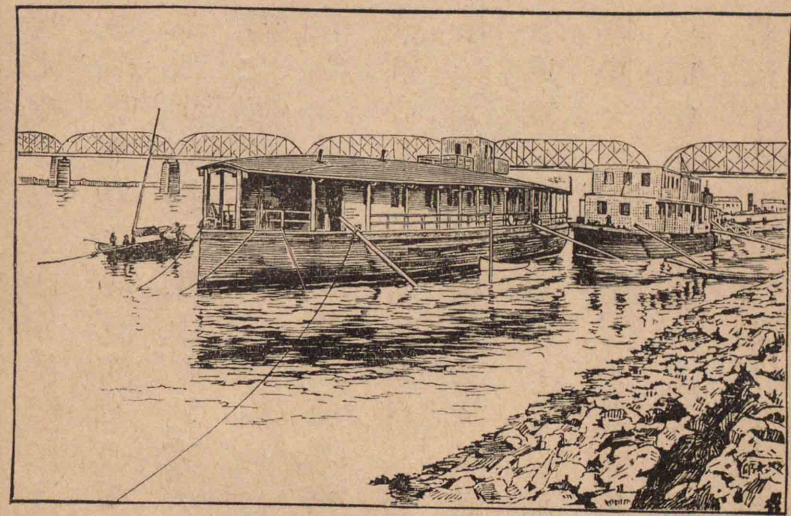
南部

南部は珠江の流域と臺灣海峽に面せる地方とを以て其の主要なる部分とす。珠江の下流に臨みて廣州あり、一に廣東といふ。廣東は南部の大都會にして、多く生絲・絹織物を輸出す。廣東の東南近海にある香港島英領の香港は、東洋の交通貿易の一大中心たり。臺灣海峽に面せる地方は、我が國と特別の關係ある所にして、こゝに福州・廈門等の良港あり。是等の港と我が臺灣とは交通盛なり。

滿洲

滿洲は支那本部の東北にありて、奉天・吉林・黑龍江の三省に

地勢



分たる。面積は六萬餘方里あれども、人口は二千五百萬に過

ぎず。

我が國の租借地たる關東州は遼東半島の南部を占む。

松花江の運水  
滿洲は西部より北部にかけて興安嶺あり、東部に長白山脈其の他の山脈ありて、三方

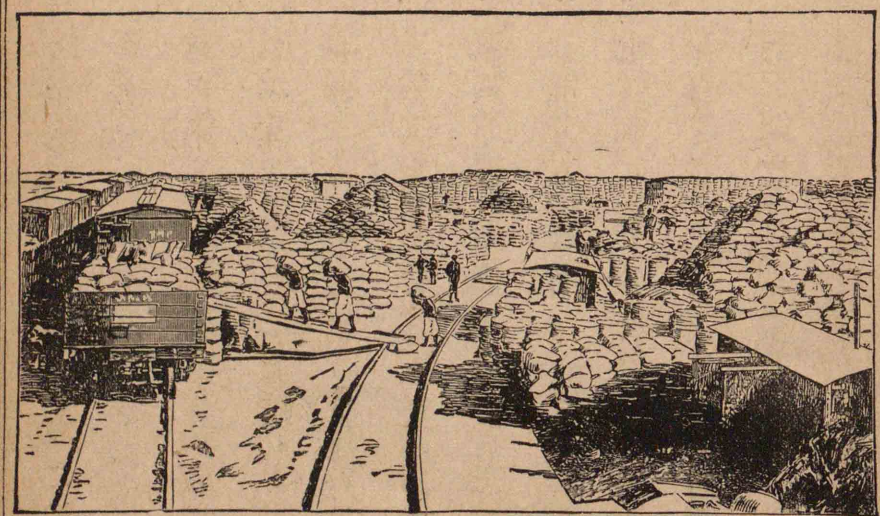
(賓爾哈) 山地をめぐらせども、南は開けて海に面す。中央部は滿洲平野と稱せらるゝ低き大平野にして、小高き丘陵によりて、北の松花江流域と南の遼

高地一

産業

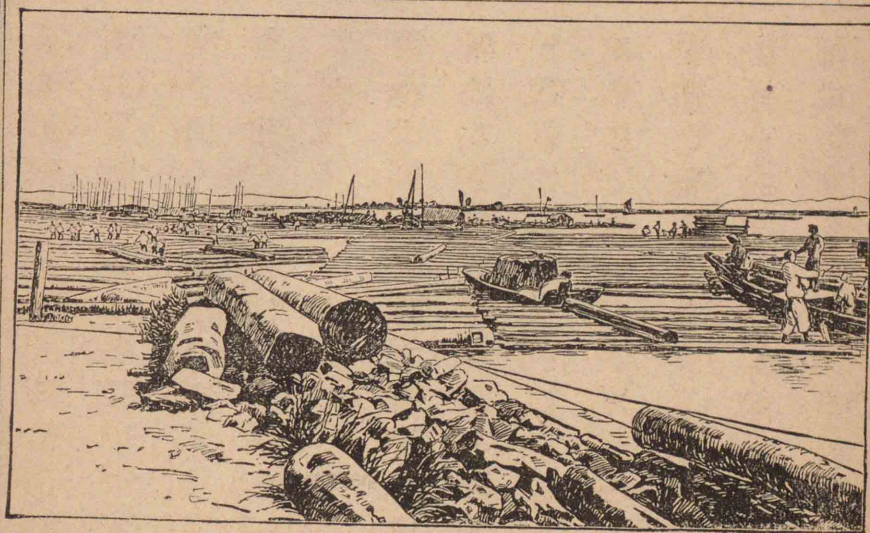
河流域とに分たる。松花江・遼河は各、其の流域を潤して農業を助くるのみならず、又交通の便を與ふること少からず。

滿洲は其の位置・地勢等の關係により、亞細亞内地の影響を受くること多くして、寒暑の差大なれども、春より夏にかけて気温高ければ、地味の肥沃なる所には、農業よく行はれ、遼河流域にては高粱・大



長春に於ける大豆の積み

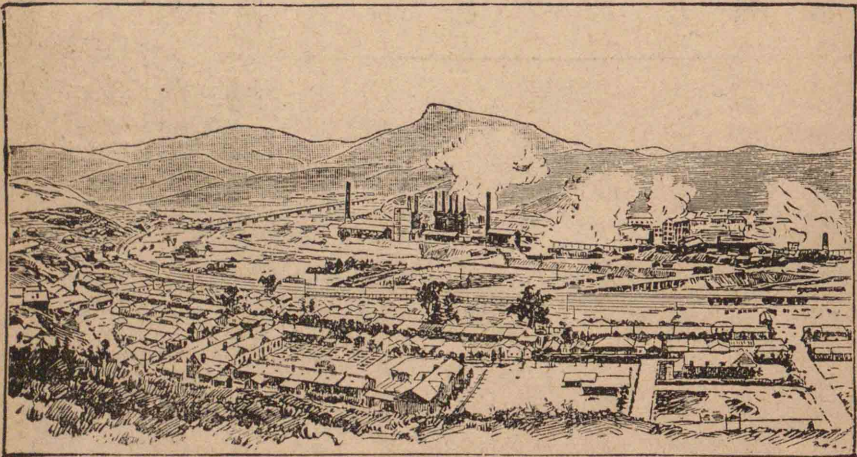
高地一



東安の鴨綠江岸に於ける材

豆・玉蜀黍を、松花江流域にては麥類・粟・麻等を産すること多し。高粱は住民の常食物にして、酒の原料にも用ひられ、大豆は豆粕・豆油の原料としても亦重んぜらる。豆粕・豆油の製造は大連を始め、營口・奉天等各地に行はれて、滿洲に於ける工業の首位を占め、其の製品は大豆と共に滿洲の最も重要な輸出品となり、盛に大連・營口等より積出さ

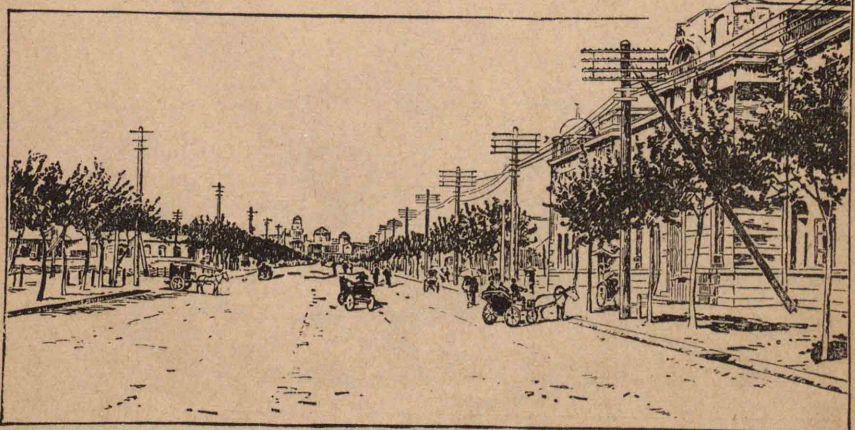
る。なほ哈爾濱・鐵嶺等にては麥粉の製造行はる。牧畜は馬・牛・豚の飼養を主として廣く行はれ、柞蠶業は南部に盛なり。又東部には廣大なる森林ありて、鴨綠江上流地方のものは、日支人協同して盛に之を採伐し、江を下して多くは安東に送る。随つて安東にては木材の取引、製材の業甚だ盛なり。鑛物には石炭・鐵の外、金・銀等あり。石炭は撫順・本溪湖・煙臺を主産地とす。殊に撫



本溪湖に於ける鐵製所

交通

順の炭田は其の區域の廣きと、炭層の厚きとを以て名高く、近時年々約四百萬噸の石炭を出す。本溪湖・鞍山には製鐵所ありて、附近に産する鐵鑛を製鍊す。滿洲は雨量少く、夏季氣温高ければ、雙島灣・貔子窩等所々の海濱には塩田を設け、天日にて塩を製す。又近海には水産の利少からず。滿洲はもと交通一般に不便にして、開發遅れたりしが、今や南滿洲鐵道を始め京奉線・東支鐵道等の



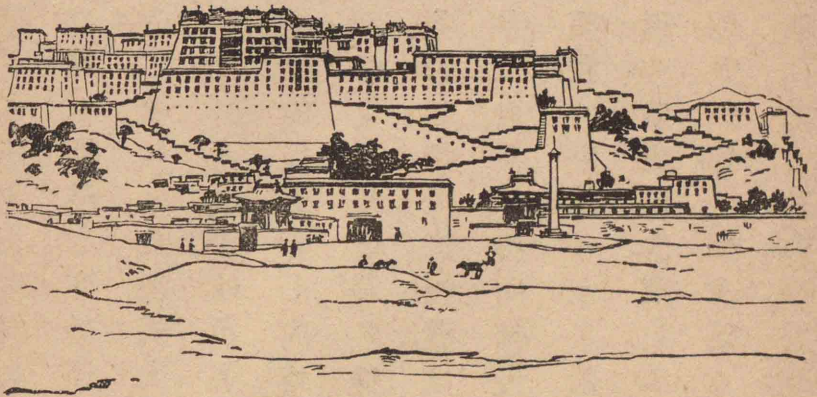
奉天の日本人市街

高地一

蒙古・新疆・青海・西藏

通ずるありて、開發の利便を與ふるが故に、沿線の産業大いに興り、都邑も亦發達し、大連・營口・安東等の貿易も亦隆盛なるに至れり。我が國人の滿洲に在留せるものは、内地人八萬餘、朝鮮人五十餘萬あり。朝鮮人は多く間島かんたうにありて、農場又は鑛山に勞働し、内地人は主として南滿洲鐵道の沿線にありて、交通・産業等各種の事業を經營す。蒙古・新疆・青海・西藏は支那本部の北より西に亙れる高原地方にありて、各面積大なれども、人口少し。住民の多數は蒙古・西藏の兩族にして、牧畜を業とし、佛教の一派なる喇嘛教を信ず。蒙古の北部にある庫倫くわんは、外蒙古の政治・宗教・商業の中心地にして、隊商繁く出入し、又喇嘛教の寺院多し。西藏の中部にある拉薩らさは宏壯なる喇嘛教大本山のある所なり。喇嘛

沿革



拉薩の喇嘛教殿堂

教の教主は西藏に於ける政治上の  
 實權を握れり。  
 支那は世界中最も早く開けたる地  
 方の一にして、こゝは古來王朝の興  
 廢繁く、國號屢變じたり。今より凡そ  
 三百四十年前、清朝は滿洲より興り  
 て、全國を一統し、國勢久しく盛なり  
 しも、凡そ八十年前、英吉利と戦ひて  
 香港を失ひ、其の後東北境の地を露  
 西亞に割き、明治二十七八年戦役に  
 て臺灣を我に譲り、次いで海岸の諸  
 要地を諸強國の租借地となせり。其

高地一

の後我が國及び西洋諸國の制度に倣ひて種々の改革を行  
 ひ、以て國運の發展を計りしが、其の甲斐なく、國內亂れて清  
 朝遂に亡び、共和政體に改まれり。我が國は支那と國土相接  
 して、古來關係頗る深し。しかも其の關係は今後益々密接なら  
 んとす。

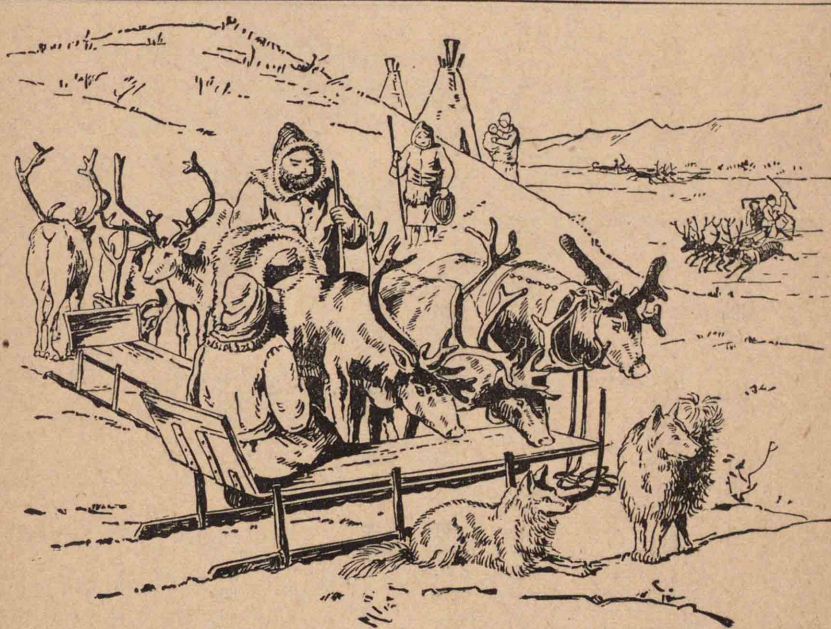
### 三 西比利亞

位置・面積・  
 人口

西比利亞は亞細亞北部の廣大なる地域を占む。其の面積は  
 凡そ我が國の十九倍あれども、人口は凡そ我が國の七分の  
 一に過ぎず。

地勢・産業

地勢西北に開けて、東部は山地をなし、西部は西比利亞平野  
 をなす。此の平野の西にウラル山脈あれども、其の傾斜緩な  
 るが故に交通を妨ぐるること大ならず。西比利亞の北部は殆

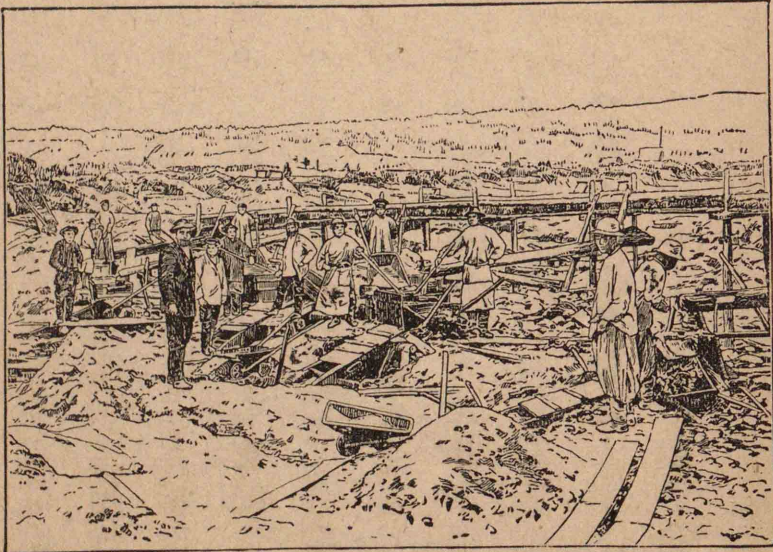


西比利亞北部の人

ど年中地面凍結して、産業未だ興らざれども、中部以南には、森林・沃野ありて、農業・牧畜・林業等行はる。殊にオビ・エニセー兩河上流地方の平野は、氣候温暖、地味肥沃にして、穀物の産出多ければ、西比利亞の穀倉と稱せられ、又畜産物の産額甚だ多く、トムスク・オムスク中亞細亞等は其の中心市

高地一

場たり。南部には金・銀・石炭等をも出す。バイカル湖の東北にあるボダイボ及び黒龍江の支流なるゼーヤ河流域は、産金地として知らるゝ所なり。又太平洋方面の近海及び沿海の河川には、さけ・ます・たら・かに等の好漁場數多ありて、夏季我が國人のこゝに出漁するもの多し。黒龍江の下流に臨めるニコライエフスクの如きは漁業の一中心地たり。



ゼーヤ河流域に於ける砂金の採集



都邑

浦潮斯德は日本海方面にありて、軍港と商港とを兼ね。冬は港内凍結して船舶の出入不便なれども、西比利亞東部中最も重要な地にして、我が敦賀・長崎・小樽等との間に定期航海の便あり。西比利亞の鐵道幹線は此の地を起點とし、西比利亞の南部を通じて、遠く歐羅巴の鐵道に連り、又東支鐵道とも連絡を保てり。其の沿線には都邑多し。其の中にて名高きはハバロフスク・チタイルクーツク・トムスク等なり。ハバロフスクは黒龍江に臨み、水陸交通の要地にして西比利亞東部の政治・商業の中心をなす。イルクーツクは西比利亞中部の政治・交通の中心をなし、又農産物の一大集散地たり。トムスクは西比利亞西部の政治の中心をなし、バタの製造其他の工業漸く盛に行はる。

高地一

高地一

四 中亞細亞・コーカシヤ

中亞細亞

中亞細亞の北部は概ね草地にして牧畜行はれ、オムスクは其の中心都市をなす。南部は概ね沙漠をなせども、河畔には穀物・綿等を産す。タシケントは其の中心市場たり。

此の地方は一般に鹹湖多く、中にもコーカシヤとの間にある裏海は世界最大の湖なり。

コーカシヤ

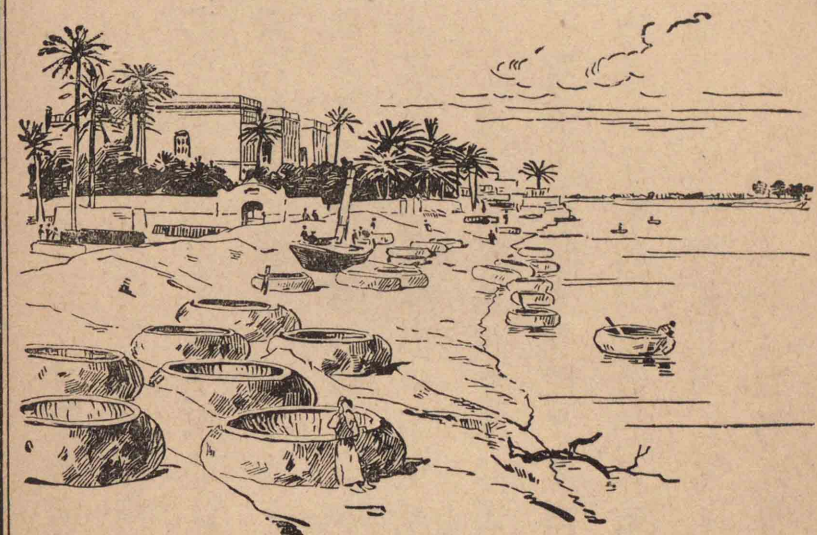
コーカシヤは其の中央に連れるコーカサス山脈によりて、平野多き北部と、丘陵多き南部とに分たる。北部には畜産物、南部には農産物を産し、又裏海に臨めるバクア附近には石油を産す。石油は黒海に臨めるバツームより之を輸出す。

五 西部亞細亞

位置・區分

西部亞細亞は小亞細亞・亞刺比亞の二半島と其の附近の地

地勢・産業



とを指す。此の地方は從來概ね土耳其領なりしが、世界大戦の結果獨立したるもの少からず。土耳其は歐羅巴に於ける領土の大部分を失ひたれば、其の首府を小亞細亞のアリソゴラに遷せり。

西部亞細亞の北部にはアルメニヤ・小亞細亞の高原あり、南部には亞刺比亞の高原あり。是等高原の内地は雨極めて少きが故に、土地荒れて産業盛ならず。中にも亞刺比亞

高地一  
高地一

都邑

高原の如きは概ね沙漠をなし、住民は處々に小部落を作りて酋長を戴き、多くは遊牧を業とせり。是等南北兩部の高原の間にあるメソポタミヤ平野は、チギリス・ユーフラテス兩河の流域に屬し、太古早く開けし所にして、今や英吉利の勢力の下にありて、河畔の地には漸次開拓の業進歩せり。バグダード鐵道は世界交通の一幹線をなし、バグダードは政治・交通・産業の中心をなす。

小亞細亞半島の東南、地中海に面する地方は、亦太古早く開けし所なり。其の海岸に近き高地にエルサレムあり、基督の墓あるを以て名高く、又新に興れるパレスタイン國の首府たり。紅海方面にあるメッカは、ヘヂヤス國の首府にして、此の國のメヂナはマホメットの墓あるを以て知らる。紅海の入口に

近きアデンは、英領にして、交通・軍事の要地なり。

### 六 イラン地方

波斯・アフガニスタン・ヘルチスタン

イラン地方は波斯・アフガニスタン・ヘルチスタンの三部に分たる。波斯及びアフガニスタンは獨立國なれども、近時は主として英國の勢力の下にあり。而してヘルチスタンは全部殆ど英吉利に屬す。

此の地方は一般に高原をなし、内地は雨少くして沙漠多く、産業隨つて盛ならず。波斯の首府はテヘランといふ。アフガニスタンのカブル・ヘラトは交通・軍事の要地なり。

### 七 印度

位置・面積  
人口

印度は印度半島と其の附近の地とを占め、其の面積は我が國の約七倍、人口は我が約四倍ありて、英國の海外領土中、最

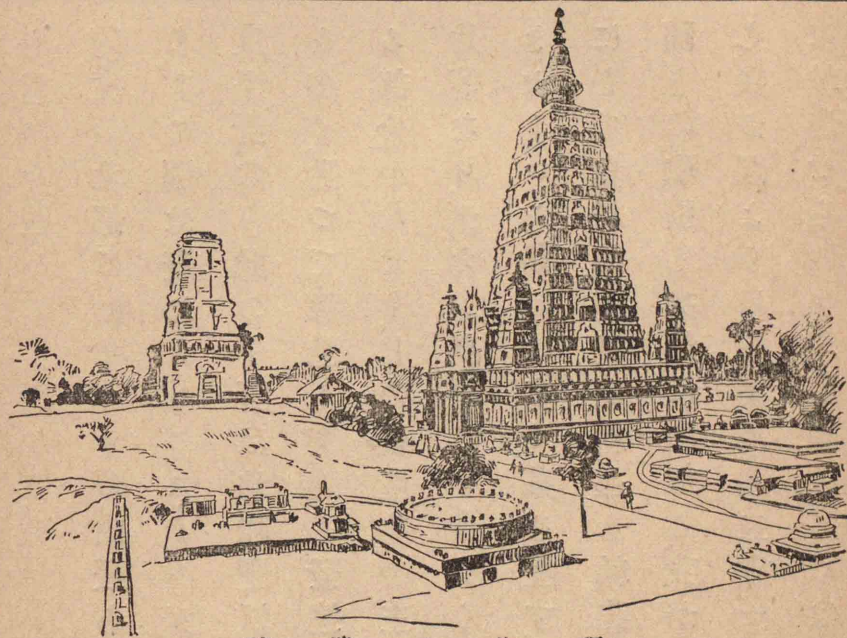
高地一

地勢・産業

も重きを置かるゝ所なり。

印度の北部にはヒマラヤ山脈あり、南部にはデカン高原あり。其の間は概ねガンジス・インダス兩河の流域に屬する印度平野なり。此の平野は地味肥沃にして、農産物を産する處と多く、隨つて都邑も交通も發達し、古來印度の最も重要な部分をなせり。其の農産物の主なるものは、米・麥・綿・茶・麻・阿片等なり。デカン高原にも亦多く綿を産し、半島の南端に近きセーロン島には多く茶を産す。印度の外國貿易は頗る盛にして、食料品・工業原料品を輸出して、加工品を輸入す。我が國との取引も次第に増加し、我が國へは主として綿を輸出し、我が國よりは綿製品・羽二重・マツチ・鐵・銅を輸入す。我が國に輸出せらるゝ印度綿は、多くはボンベールより積出され、我

都邑



釋迦の遺蹟

が國にては綿絲の原料に用ひらる。我が綿絲紡績業は主としてこれによりて發達せるなり。ガンジス河の下流地方にカルカタあり。此の地は水陸交通の要地にして、貿易盛に行はる。もとは英領印度の首府たりし所なり。我が國の汽船も此の地に定期航路を開けり。ガンジス河の中

高地一

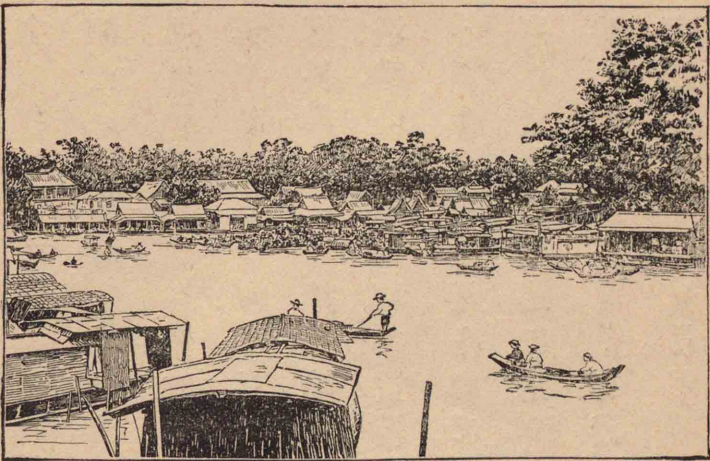
高地一

沿革

流に臨みてベナレスあり、印度教の靈地として著る。其の東方のガヤは近傍に釋迦の遺蹟あるを以て名あり。ガンジス河の上流に臨みてデリーあり。此の地は英領印度の首府にして、内地商業の盛なる所なり。デリーの西南、亞刺比亞海岸にあるボンベーは、カルカタと並び稱せらる。印度の大貿易港にして、綿の輸出甚だ多く我が國との間にも、定期に汽船の往來ありて、貿易益、盛なり。印度の東南岸にあるマドラスも亦貿易港として名あり。セーロン島のコロンボは、印度洋交通の要路に當り、茶を輸出すること多し。我が歐洲航路の汽船もこゝに寄港するを常とす。

印度は文化夙に開け、佛教の開祖釋迦の出生地として有名なり。四百二三十年前、葡萄牙人の來航せし以來、歐羅巴諸國

位置・氣候  
地勢・產物



(地の近附谷盤)活生上水るけ於に部南東亞細亞

より印度に來るもの多く、中にも英吉利人最も勢力を得て、遂に其の政權を握り、以て今日に及べり。

### 八 印度支那

印度支那は印度支那半島の地にして、其の南に延びたる所を馬來半島とす。此の地方の氣候は熱帶性にして、季節は乾濕の二季に分る。域内には印度支那山系と稱せらるゝ數條の山脈略、南北に連り、メナム・メーコン・イラワヂー等の諸河、其の間を南流して、交通の便を與ふ。又

高地一  
高地一

區分

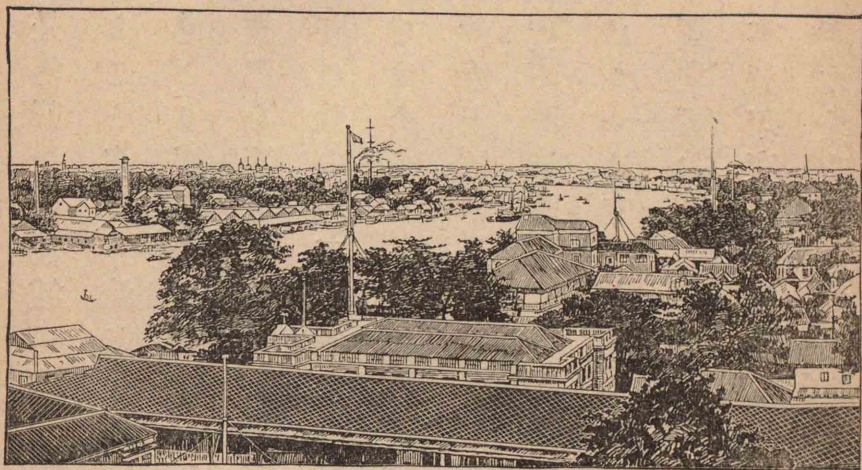
ビルマ

是等諸川の流域には地味の肥沃なる平野開けて米を産すること多く、下流に臨めるサイゴン・盤谷・ラングーン等の諸港より盛にこれを輸出す。我が國の汽船も、近年是等の港に航路を開きて、交通貿易す。我が國にて外米と稱せらるゝは概ね此の地方の産なり。又此の地方の山地より平野にかけては、チーク其の他の良材を産すること多し。

政治上域内を分ちて、ビルマ・暹羅・佛領印度支那・馬來聯邦英國の保護國・海峽殖民地等とす。

ビルマは印度支那半島の西部を占む。此の地方はもと一の獨立國なりしが、英國の侵略を受けて其の領土となり、今や英領印度の一部をなす。北部の山地は雨量極めて多くして、樹木繁茂し、南部の平野は米産に富む。ラングーンは水陸交

暹羅



盤谷の市街

通の要地に當り、米の集散甚だ盛なり。  
暹羅は面積殆ど我が國と等しけれども、人口は約九百萬に過ぎず。首府盤谷は此の國の門戸をなし、米・木材等を輸出するこ  
と多し。  
此の國は我が徳川時代の初に當りて、山田長政の武勇を現せし所なり。今は專制王國にして、先進國の文明に倣ひて國政の改良を圖り、産業の發達を期す。

高地一

高地一

佛領印度支那

我が國とは親交を結び、彼我の交通貿易漸次發展す。

佛領印度支那は、中部に山地多けれども、南及び北の一部に平野あり。北部の平野にある首府ハノイは交通の要地にして、こゝより支那の南部に通ずる鐵道あり。南部の平野にあるサイゴンは商港と軍港とを兼ね、多く米を輸出す。佛領印度支那の地には、もと安南・カンボヂヤ等の獨立國ありしが、佛國は之を其の領土となし、開發に努む。現今佛國の殖民地中、此の地方は最も重要なるものなり。

海峽殖民地  
馬來聯邦

海峽殖民地は馬來半島の南部にありて、英吉利に屬し、ゴム・コブラ・錫等を産す。首府シンガポールは東西交通の要地に當り、貿易甚だ盛にして市況繁盛なり。海峽殖民地及び馬來聯邦には我が國人のゴム栽培に従事せるもの少からず。

### 九 馬來諸島

位置

馬來諸島は亞細亞洲の東南部にありて、大小無數の島嶼より成る。中にも最も大なるはボルネオ島にして、最も開けたるはジャワ島・ルソン島なり。

氣候・産物

馬來諸島は熱帯中にありても、海洋の影響によりて暑氣大いに和らげられ、又季節の變化著し



馬來諸島に於ける籐細工

高地一  
高地一

區分・各地方

からず、其の氣候・地味よく植物の發育に適するが故に、森林多く、又農産物豊にして、甘蔗・米・茶・コブラ・マニラ麻・煙草・ゴム・珈琲・香料・籐等の産額多し。又所々に石油・錫を産す。

馬來諸島の中、ボルネオ島の北部が英吉利に屬し、フィリピン群島が亞米利加合衆國に屬する外は、概ね和蘭の領土なり。ジャワ島は蘭領印度中最も開けたる所にして、農産物多く、其の北岸にある首府バタビヤよりは、砂糖・珈琲などを輸出すること甚だ多し。バタビヤの東方にサマラン・スラバヤ等の貿易港あり。ジャワの外、蘭領印度の中には、スマトラ島・セレベス島・蘭領ボルネオ等あり。セレベス島はコブラを産し、蘭領ボルネオ・スマトラ島は石油を出す。英領ボルネオにも亦石油・石炭の産出あり。フィリピン群島は、もと西班牙に屬せしが、

Tierra Austalia Incognita  
佐 南 未定

位置・成立

十九世紀の終りに、亞米利加合衆國の領土となれり。此の群島中、ルソン島は殊によく開け、西海岸にある首府マニラよりは、マニラ麻・コブラ・砂糖・煙草等を輸出す。馬來諸島は近年大いに開け、我が國人のこゝに移住するもの漸く多く、マニラ・パタビヤを始め、重要なる港には我が汽船の定期航路通じて、彼我の貿易も随つて發展す。

第二

大洋洲

一般  
1. 交通要路  
2. 政令上  
3. 海軍根據地  
4. 電信  
5. 燐鉱の産  
6. 鹽水産物中心地  
7. 樺居居し

大洋洲は亞細亞洲と南北兩亞米利加洲との間にありて、濠太刺利大陸と太平洋上に散布する大小無數の島嶼とより成り、其の大部は赤道の南に位す。本洲は六大洲中最も小さく、又中に一も獨立國なし。

六大洲中最も小さい  
島嶼の中心地

高地一

高地一

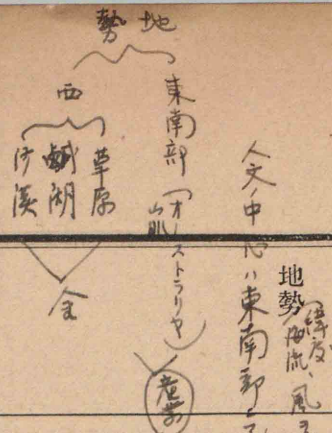
面積・人口

濠太刺利は最小の大陸にして、一に濠洲と稱せらる。其の面積約五十萬方里、人口約五百萬あり。全部英吉利に屬し、住民の大部は英吉利人なり。

一 濠太刺利

オーストラリアとの區別

日中の區別



氣候・産物

濠太刺利山脈以西は、内地に至るに隨ひ概して雨量少くして、草原・鹹湖多く、又廣く沙漠をなせる所さへあるが故に、

氣候の变化、  
西の草原、  
湖、  
海、  
山脈、  
濠太刺利



金、羊毛、長重要

羊と羊毛  
羊と羊毛  
羊と羊毛

七五〇mm以上、  
羊、羊毛、  
二五〇mm以下、  
羊、羊毛、  
羊、羊毛、  
羊、羊毛、

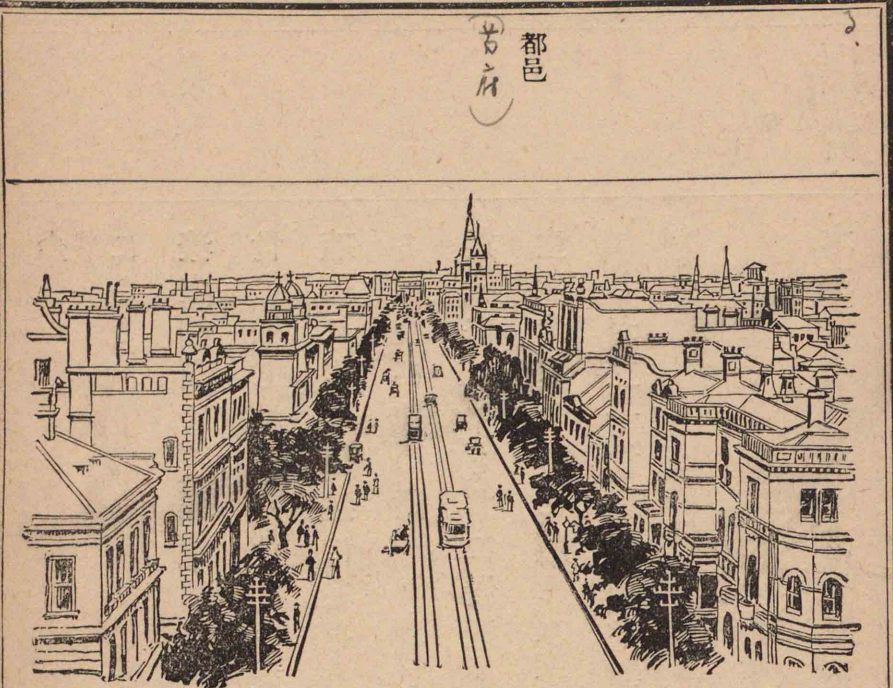
ールガルヂー等の産金地方を除けば、西の大部は産業、交通  
發達せず、住民も亦稀なり。然れども東部は氣候温和にして、  
雨量割合に多ければ、小麥、玉蜀黍、甘蔗等の栽培、羊、牛等の牧  
養に適し、又金、銀、石炭等の鑛産物もありて、交通も都邑も發  
達し、貿易も随つて盛にして、濠太刺利大陸中の最も重要な  
部分をなす。此の地方の羊毛、小  
麥、石炭及び東西兩部の金等の産  
物はシドニー、メルボルン等の港  
より多く海外に輸出せらる。中に  
も金と羊毛とは其の産出額に於  
て世界屈指の地位にあり。動植物  
にはカンガル、鴨嘴獸、ユーカリ



高地一

城口の羊毛のあり

カンベラ  
都邑



街市のメルボルン

樹など珍しき固有のものあれ  
ども、現今産業上に利用せらる  
る牛、羊、小麥等は、すべて原種を  
歐羅巴より移したるものなり。』  
メルボルン、シドニーの二港は  
濠太刺利の門戸にして、貿易盛  
に行はれ、又我が國汽船の航路  
に當る。トールレス海峡に木曜島  
あり、亦我が國汽船の寄港地に  
して、こゝより大陸の北岸地方  
にかけては本邦人の在留して  
眞珠貝の採取に従事するもの

高地一

沿革

少からず。メルボルンの西にあるアデレードも、大陸の西岸にあるパースも重要な港なり。  
 濠太刺利は西班牙・和蘭兩國人の始めて探検せしより漸く世に知られ、十八世紀の末より英吉利人は奮つて之が探検・殖民に従事し、遂に之を占領せり。其の後、内地的な産物金鑛の發見せらるるに及び、他の諸洲よりこゝに移住するもの俄に増加し、農業・牧畜も年と共に發達して、現今の如く世界の重要なる一生産地となるに至れり。濠太刺利はもと數箇の殖民地に分れしが、二十世紀の初、是等殖民地相聯合して聯邦を組織せり。

二 本洲の諸島

面積・人口・地勢・氣候

本洲の諸島は其の全面積約八萬餘方里、總人口約三百萬あり。

オーストラリア連邦の人口多し  
オーストラリア連邦の人口多し

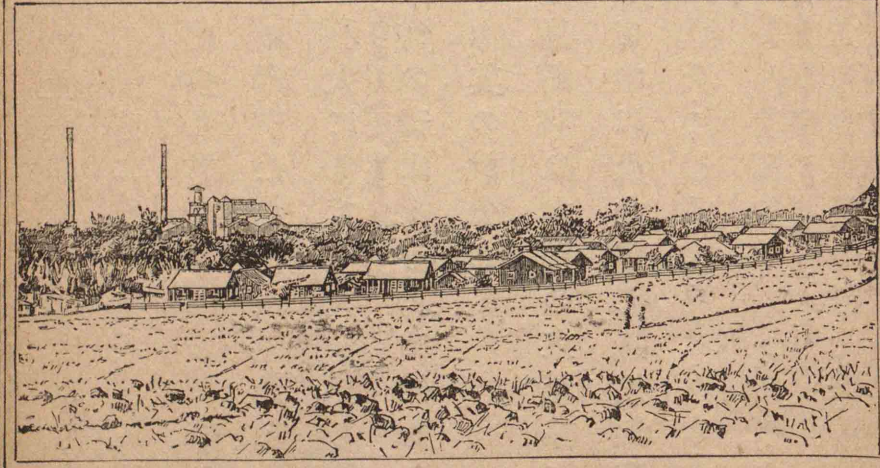
ラクトーレン  
 カロニール

島  
 火山口  
 サトウキビ  
 成る

ニュージールランド

りて、現今悉くそれ〴〵歐米諸國に屬す。是等の諸島は或は高き火山をなし、或は低き珊瑚礁をなす。其の多くは熱帯中にあれども、海風の影響を受くるが故に暑氣甚だしからず。諸島の中、主なるものにニュージールランド・バプア(一名ニューギニア)・布哇諸島等あり。

ニュージールランド英領は濠洲の東南海中にありて、南北の二島より成り、島内に火山・温泉多し



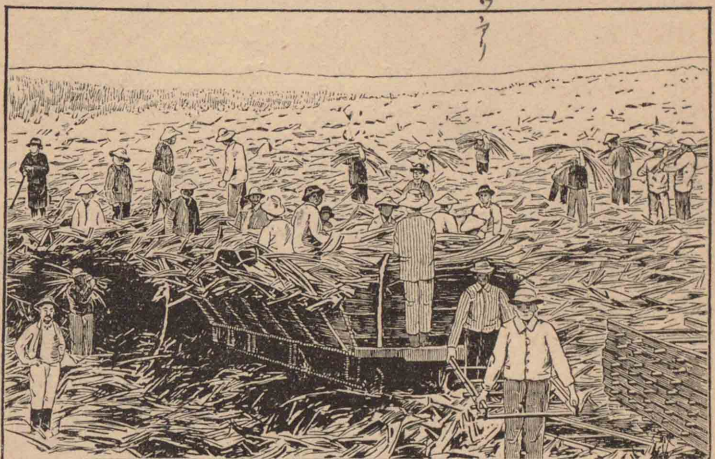
布哇諸島の國人の村落

高地一

マオリ族 傑出 白人 多量 減價

注意  
1. 我白人活動状況  
2. 島々も価値

布哇諸島



布哇諸島に於ける我が國人の甘蔗採集

て、風光の美麗なるを以て稱せらる。産業の主なるものは羊・牛等の飼養にして、羊毛・凍肉等の輸出多く、首府ウリントンに主なる門戸たり。住民の大部は英吉利人にして、土人マオリ族は風俗の奇なるを以て知らるれども、其の數少し。

の業盛なり。住民の過半は我が國人にして、其の數十二萬多

高地一

交通に便宜  
多量の砂糖

我が南洋委任統治地

南洋の諸島の特色

くは甘蔗の耕作に従事す。首府ホノルルは太平洋航路の要地にして、我が國汽船の航路に當り、粗糖の輸出多し。

我が南洋委任統治地は、舊獨逸領ミクロネシアの殆ど全部にして、パラウ・カロリン・マーシャルの三諸島とマリヤナ諸島の大部とより成り、島數甚だ多し。是等諸島の多數は、珊瑚礁より成りて、極めて低けれども、火山岩より成れる少數の島

島は概ね高くして稍大なり。是等諸島は面積小さく、住民も少けれども、其の位置太平洋交通の要地に當り、又各地にコ

ブラを産し、パラウ諸島に燐礦を産するを以て注意せらる。大正三年以來、我が國は是等の諸島を占領して、主なる島々

には航路を通じ、其の他種々開發に努む。世界大戰の結果、我が國は是等諸島の統治を委任せらるゝこととなれり。

高地一

### 第三 歐羅巴洲

#### 一 總論

面積

歐羅巴洲は其の面積凡そ六十四萬方里ありて、亞細亞の略、四分の一に當る。

地勢

本洲は海岸線の出入極めて多く、又島嶼に富む。北にはスカンデナヴィヤ半島ありてバルチック海を限り、西には英吉利諸島ありて北海と英吉利海峡とを分てり。西南にはイベリヤ半島あり、南には伊太利・バルカンの二半島あり。イベリヤ半島は大西洋と地中海との間に突出し、其の南端は阿弗利加に迫りて地中海の咽喉をなす。伊太利半島は地中海の中部に突出して、バルカン半島と共にアドリヤ海を圍む。バルカ

高地一

高地一



(シホクタマ) 峰高一の中脈山ブルア

ン半島の東南は小亞細亞半島に迫りて地中海と黒海とを分つ。

本洲の西南部より南部にかけては、ピレネー・アルプ等山脈多し。其の最も雄大なるものはアルプ山脈にして、佛蘭西・伊太利・瑞西・壞地・利・ユーゴスラビヤの諸國に亘りて大分水嶺をなし、其の中に數多の高峯四時氷雪を戴きて聳ゆ。中にもモンブランは

## 氣候

高さ凡そ一萬六千尺、本洲第一の高山なり。アルプ山脈の一派は東北に延びてカルパチヤ山脈となり、他の一派は伊太利半島に延びてアペニン山脈となる。又アルプ山脈の支脈にはアドリヤ海の東岸を走るものもあり。本洲の東部より北部にかけては、スカンデナビヤ半島とウラル山脈とを除くの外、概ね平野にして、其の中央部に丘陵地あるに過ぎず。アルプ山脈及び附近の山地より發源する河流には、ダニユ・ブライン・エルベ等あり。ダニユ・ブ河は東の方黒海に入り、ライン・エルベの兩河は北の方北海に注ぐ。東部平野の中央部にある丘陵地より發源するものには、ボルガ河、ドニエプル河等あり、主として南流して裏海又は黒海に注ぐ。本洲の大西洋沿岸と地中海沿岸との地方は、海洋の影響を

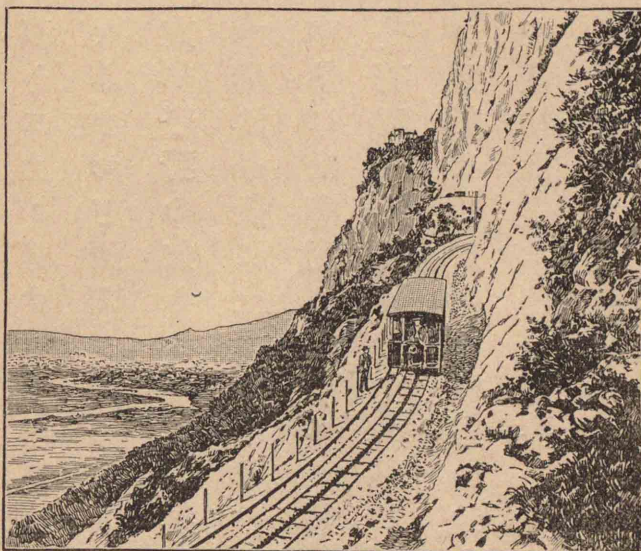
高地一

高地一

## 産業

受けて、同緯度の他地方よりも氣候著しく温和なり。緯度の高きスカンデナビヤ半島の西北岸の如きも、冬季凍結の虞なし。されど西より東に至るに隨ひ、寒暑の差一般に増加し、東部平野の如きは、冬季寒氣烈しく、河水悉く凍結す。本洲は一般に土地よく開けて、中部以東には麥類・麻・甜菜、西南部には葡萄の産出多く、獨逸にては製糖業、佛蘭西にては葡萄酒醸造業發達す。本洲には馬・牛・羊等廣く飼養せられ、其の頭數は特に中部以東の地方に多し。然るに是等の農産物、畜産物は尙本洲の需要を充すに足らずして、他洲より其の供給を仰ぐこと甚だ大なり。されど英・佛等の諸國は鐵及び石炭に富み、又内外に原料を得ること便利なるを以て、工業著しく發達し、其の製品を盛に各地に輸出せり。

交通



道鐵山登の中脈山プルア

して有名なるもの少からず。

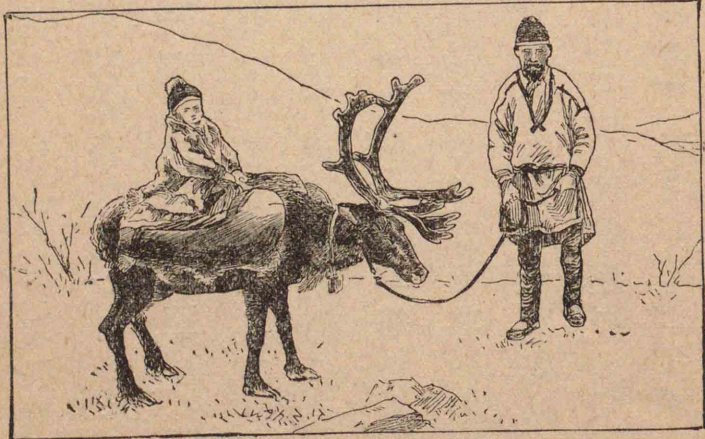
歐羅巴洲には各種の交通機關著しく發達し、陸には鐵道の敷設普くして、アルプ山脈にも數多の大トンネルを穿ちて數條の線路を通ず。河川は水量多く、其の流緩かにして、運河によりて連絡せらるゝもの多く、かたゞ交通の便を助くること大なり。海岸又は河川の下流に臨みては良港多くして、汽車の往來、船舶の出入共に繁く、中に世界の大商港と

高地一

高地一

住民

本洲は約四億の住民を有し、人口の密度に於ては六大洲中第一に位す。住民の大部は歐羅巴人種に屬し、概ね基督教を信ず。其の中スラブ族は東部・中部に、チュートン族は中部・西部に、ラテン族は西部・南部に多し。歐羅巴人種に次くは亞細亞人種にして、主として北部と東南部に住す。東南部に住するものにはマホメット教を信ずるもの少からず。又本洲は教育一般に普及し、中部より西部・南部にかけては學術技藝の研究盛にして、文明著しく進歩せり。



人土の部北極

區分

本洲には大小數多の獨立國ありて、其の數三十を超え、其中、眞に獨立國の體面を保てるもの二十餘國に及ぶ。乃ち東部より北部にかけてはソヴィエト聯邦(露西亞・フィンランド・ポーランド・瑞典・挪威等あり。中部には獨逸・奧地利・洪牙利・チエコ、スロバキヤ・丁抹和蘭・白耳義・瑞西等あり。西部には英吉利・佛蘭西・西班牙・葡萄牙等あり。又南部には伊太利・東南部にはユーゴスラビヤ・ルーマニヤ・ブルガリヤ・希臘・土耳其等あり。是等の諸國は一として立憲政體ならざるはなし。其の中、英吉利・佛蘭西・ソヴィエト聯邦(露西亞)・和蘭・白耳義・伊太利等は他洲に廣き領土を有し、殊に英・佛・伊の三國は國勢盛にして、日本及び亞米利加合衆國と共に世界の五大國と稱せらる。

二 東部歐羅巴(ソヴィエト聯邦・フィンランド・ポーランド)

高地一

地勢・産業

東部歐羅巴はもとの露西亞の領土を指す。其の地勢一般に平坦にして、唯其の中央部に略、東西に互れる低き丘陵地あるのみ。主要なる河川は源を此の丘陵に發し、緩かに平野を流れて、南の方黒海又は裏海に入るもあり、北の方北極海に注ぐもあり。是等の河川は冬季永く結氷して便利なる陸路となり、其の他の季節には水運の便甚だ多くして、域内の主要なる交通路をなせり。北極海に沿へる北部の地方には凍原ありて、地の利少けれども、其の南には森林連りて林産物を産し、更に其の南には農業・牧畜盛に行はれて、麥類・麻牛・馬等を産すること多し。露西亞が從來歐洲第一の農業國たりしは、此の南部の平野あるが爲なり。又ウラル山脈は貴金屬を産するを以て名高し。

露西亞は二百餘年前、ペートル大帝出でて、内治を改良し、外征に成功せしより、國勢漸く隆盛に赴き、其の後益、領土を四方に擴めたる結果、歐亞の二大洲に亙りて、廣大なる版圖を有せしが、世界大戰中國内分裂し、數多の獨立國起りて、國勢衰へ、終に革命起りて、ソヴェト聯邦となれり。新獨立國の中、主なるものはフィンランド・ポーランド等なり。フィンランドはスカンヂナビヤ半島の東に接して、ヘルシングフォルスを首府とす。ポーランドは舊露領の一部の外、獨塊の舊領土の一部づつを併せ、ワルソーを首府とす。ソヴェト聯邦は舊露領の大部分を保ち、モスコを首府とす。ソヴェト聯邦は舊露領の大部分を保ち、モスコを首府とす。ソヴェト聯邦は舊露領の大部分を保ち、モスコを首府とす。



はる。其の西にあるクロンスタットはバルチック艦隊の根據地たりしを以て名高し。モスコはレニングラードの東南にあり。此の地は古來露西亞政治上の要地にして、内地交通の要路に當り、農産物の集散せらるゝもの多く、又工業盛に行はる。黒海に臨めるオデッサは黒海方面の良港にして、商業及び交通の一中心をなし、麥類を輸出すること

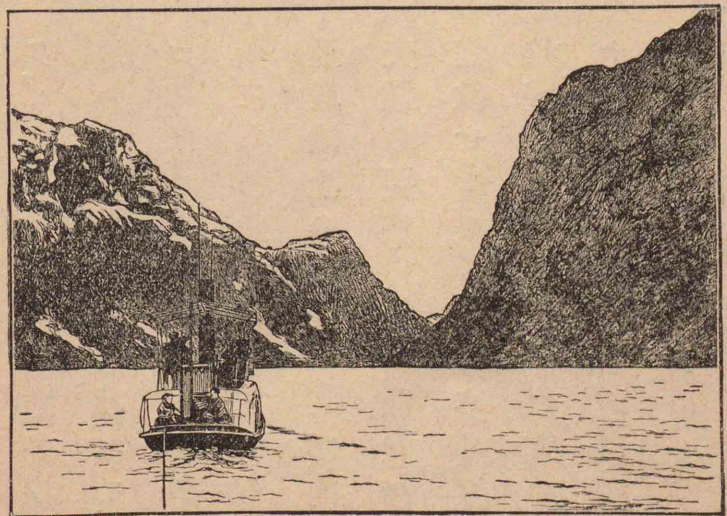


瑞典・諾威

多し。

三 瑞典・諾威・丁抹

瑞典・諾威の二國は、スカンデナビヤ半島にありて、半島の脊梁をなせるスカンデナビヤ山脈を界とす。西側なる諾威の海岸には山岳直ちに岸に迫りて絶壁をなせども、海岸線の出入甚だ多きが故に、舟泊の要地となれる所少からず。又近海は魚類多くして世界有数の漁場となり、ベルゲン、其の他を中心地として漁



ノ威の峽灣

高地一



ノ威の漁船

業盛に行はる。此の國は農産物に乏しけれども、木材を産すること少からず。諾威の首府はオスロといひ、此の國の門戸なり。瑞典は諾威に比べて地勢緩かにして、交通の便開け、内地には木材を産し、海岸の平野には農業に適する所あり。又處々に鐵鑛を産す。此の鐵鑛は從來主として輸出せられしが、近年國內の各地にて水

丁抹

力を利用してこれを製鍊す。随つて其の他の工業も亦漸く盛ならんとす。瑞典の首府はストックホルムといひ、商業交通の中心をなす。  
丁抹はバルチック海と北海との間に突出せるユトランド半島の大部分と其の附近の島嶼とを占め、スカンデナビヤ半島と相對してバルチック海の門戸をなす。國內概ね低地にして、農業及び牧畜盛に行はれ、バタは此の國の主要なる輸出品なり。海岸線の出入は甚だ多けれども、良港は割合に少し。首府コペンハーゲンは東部の島上にありて、交通上の要地をなす。

丁抹の領土には尙大西洋の北部に位するアイスランド島あり。島内には火山間歇温泉多し。住民は主として牧畜又は

高地一

漁業に従事す。

四 獨逸

位置・面積・人口

獨逸は歐羅巴の略中央にありて、面積約三萬方里、人口凡そ六千萬あり。

沿革

獨逸はもと二十餘邦より成り、聯邦の一なる普魯西の國王其の皇帝を兼ねたりしが、世界大戰の終期に共和政體に改まり。此の國は從來教育・學術・商工業盛にして、又海外に廣き領土を有し、世界強國の一に數へられしが、世界大戰の結果、多大の損失を蒙り、且本國の一部、海外領土の全部を失ひ、爲に國力大いに衰へたり。

地勢

南部は山脈連亘して高地をなし、處々に地味の肥沃なる所あり。北部は歐羅巴大平原の一部にして、沿海の地は殊に低

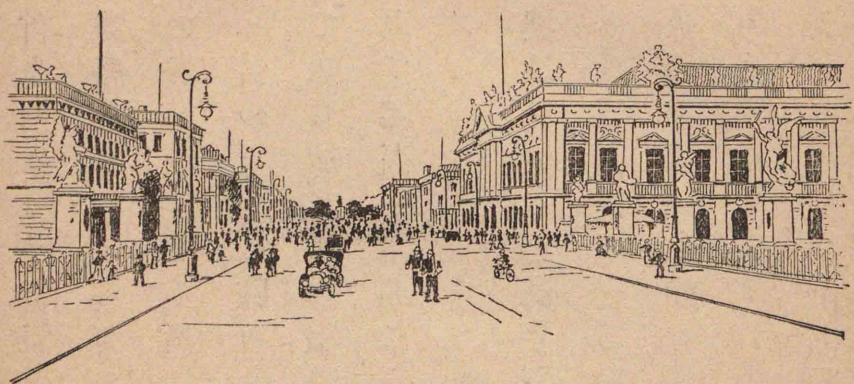
産業

平なれども、沼澤・砂礫多くして、農耕に適せざる所少からず。河川は概ね水量多く、運河によりて互に相通じ、ライン・ダニエーブの如きは、北海と黒海とを連絡する重要な水路をなす。又ユトランド半島の頸部にあるキール運河は、バルチック海と北海との連絡交通を助くること甚だ大なり。

獨逸には産業發達して、諸種の産物を出す。農産物中、麥類・馬鈴薯・甜菜等は廣く栽培せられ、随つて砂糖・澱粉・ビール等の製造も盛に行はる。ライン河畔は國內にて、最も温暖なる所にして、特に葡萄の産出に富む。林業は一般に大いに進歩し、林産物は殊に南部の地方に多し。

獨逸は鐵・石炭・岩塩など鑛産物に富み、世界大戰前には鐵・石炭の産額にて世界屈指の地位にありき。されば工業も亦隨

高地一  
高地一



伯 林 の 市 街

つて盛大を極め、鐵製品・織物・ビール・砂糖・化學工業品等を産すること夥しかりしが、世界大戰の結果、鐵鑛産地の大部と石炭産地の一部とを失ひたる上に、十年間年々多額の石炭を賠償として佛・白・伊の諸國に引渡すべきこととなりたるを以て、工業も一大打撃を受くることとなれり。

外國貿易も亦世界大戰の始まると共に俄に衰へ、今や戦前の面目なし。我が國との貿易も戦後尙未だ盛ならず。

都邑

首府伯林は殆ど國の中央に位し、人口三百八十萬、學術・商工業盛なり。エルベ河の下流に臨めるハンブルグは世界屈指の貿易港にして、諸外國と航路相通じ、船舶繁く出入す。エルベ河の上流に臨めるドレスデンは美術工藝品の産地として知られ、其の西北にあるライプチヒは出版業の盛なるを以て名高し。南部にミンヘンあり、多くビールを醸造す。

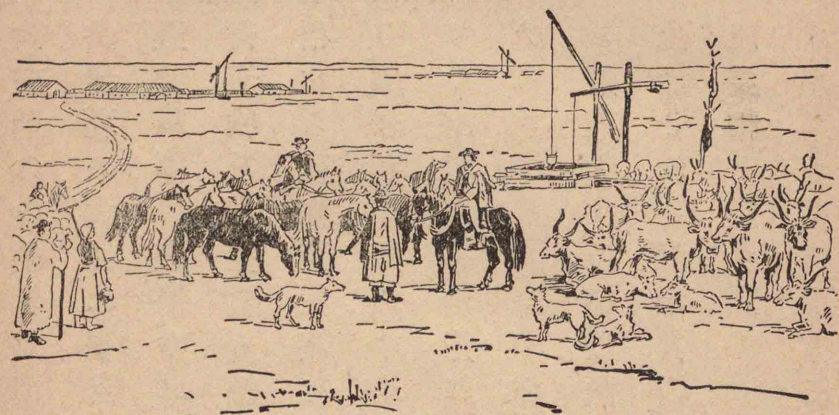
五 奧地利・洪牙利・チエッコ・スロバキヤ

奧地利はもと洪牙利と聯合して奧地利洪牙利帝國を形成し、世界強國の一に數へられしが、國內に數多の民族ありて、政治の統一上、頗る困難なる事情ありき。世界大戰の結果、國內分裂して、或はチエッコ、スロバキヤ國となり、或はユーゴスラビヤ・ポーランド・伊太利・ルーマニヤ等の一部となりたる

沿革

高地一

奧地利



洪牙利平原の牧場

が故に、奧地利も洪牙利も大いに國土を減じ、又各、分離して國力を弱めたり。奧地利の大部は、アルプ山脈連亘して農業に便ならざれども、ダニエーブ河沿岸の平野には、農業行はれて、多く麥類・馬鈴薯を産す。國內には森林多くして、木材を産し、草地には牧牛行はる。又所々より鐵・石炭等を出す。奧地利の首府維也納はダニエーブ河に沿ひ、市街甚だ壯麗にして、學

洪牙利

術・交通の中心をなす。又其の附近の地には工業漸次盛なり。』  
洪牙利の大部は平野にして、ダニューブ河の流域に屬し、小麥・  
玉蜀黍等の農耕、牛・羊等の飼養共に盛にして、是等の農産物・  
畜産物を主要なる輸出品となす。住民の多數はマジールと  
稱する亞細亞民族なり。首府ブダペストはダニューブ河に跨  
り、洪牙利平原の中心市場たり。此の國は内陸國にして、アド  
リヤ海・黒海の沿岸にある外國の港を主なる門戸とす。

チエッコ、スロ  
バキヤ

チエッコ、スロバキヤの東部は山地多くして、農業・牧畜を主な  
る産業とす。西部は山脈に圍まれて盆地をなし、エルベ河の  
上流これを潤す。其の地味肥沃にして、穀物・馬鈴薯・甜菜等の  
農産物を産すること多く、林業も亦發達して、多く木材を出  
す。鑛業も此の地方に盛に行はれて、多く鐵・石炭を出し、又水

高地一

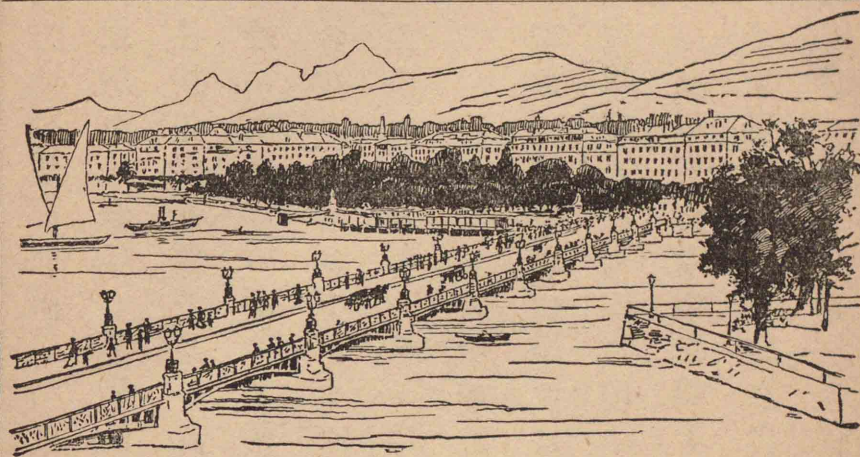
力の利用も便利なれば、製鐵及び織物・ビール・硝子・陶器の製  
造所々に盛にして、都邑も發達し、交通も便利なり。

住民の大部はスラブ民族に屬するチエック及びスロバック民  
族にして、此の國の名稱は即ち此の民族の名稱に因めるも  
のなり。首府はブラーグといひ、工業・交通の中心地たり。其の  
西南にあるピルゼンはビールの名産地なり。

### 六 瑞西

瑞西は佛・獨・墺・伊の間にある小國にして、ライン・ローヌ等の  
諸川、源を此の國に發す。國內にはアルプ山脈連亘して、數多  
の高峯四時氷雪を戴きて聳え、谿谷には瀑布懸り、湖水湛へ  
て風景美はしく、實に歐洲の樂園と稱せらる。地勢一般に峻  
しけれども、交通の便備はりて、歐洲の數條の鐵道幹線はア

位置・面積・人口



ルプ山脈を横ぎり、諸名山には登山鐵道の設けあり。地勢水力の用に便なるを以て、工業興り、精巧なる工藝品を出す。農業は盛ならざれども、牧畜は一般に行はれ、バター・チーズ等を産す。首府ベルンは國の西部にあり。東北部にあるチュイーリヒよりは多く絹織物を産し、西南の方、ジュネーブ湖に臨めるジュネーブにては時計の製造盛なり。

七 佛蘭西

佛蘭西は西部歐羅巴の中央に位

高地一

高地一

地勢・産業

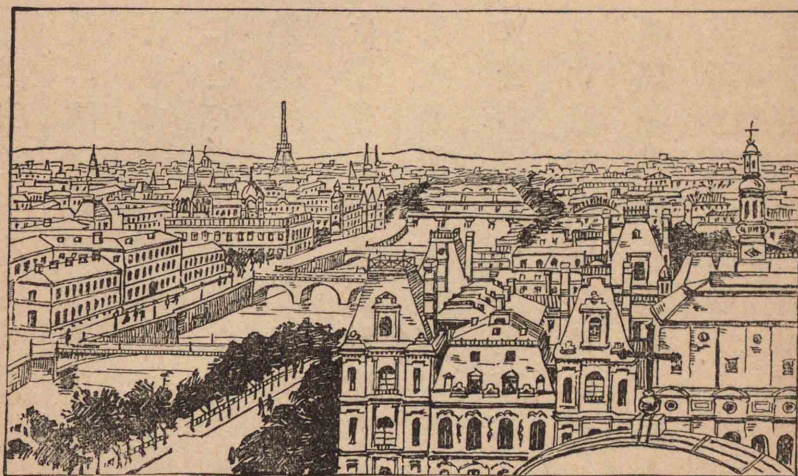
し、面積約三萬五千方里、人口約四千萬あり。

此の國の東部は山地多く、殊に其の南部にはアルプ山脈蟠まりて、中に高峯モンブランの聳ゆるあり。西部は概ね平地にして、セーヌ河・ローヌ河之を潤し、地味肥沃なるを以て、農業盛にして、麥類・葡萄等を産すること多く、葡萄の産地にては葡萄酒醸造業發達し、其の製品は盛に海外に輸出せらる。又東南部には養蠶の業行はれ、絹織物業隨つて勃興し、海外の生絲をも輸入して多く絹織物を製す。なほ東北部と中部とには鐵・石炭の産出多くして製鐵業發達し、東北部にては毛織物業・綿織物業も盛なり。又此の國の美術工藝品は、殊に精巧を以て聞ゆ。

貿易

佛蘭西の輸出品の主なるものは絹織物・綿織物・葡萄酒等に

都邑



街市の里巴

して、輸入品の主なるものは穀物・コークス・機械・綿・化學工業品・銅等なり。其の取引は、英吉利・白耳義等との間に最も盛に行はる。我が國との貿易も漸く盛にして、我が國よりは多く生絲・銅・澱粉・羽二重等を輸入す。首府巴里はセーヌ河に跨りて周圍に城壁を繞らし、人口凡そ二百九十萬を有する大都會にして、市街の壯麗なると美術工藝品の製作盛なるとを以て其

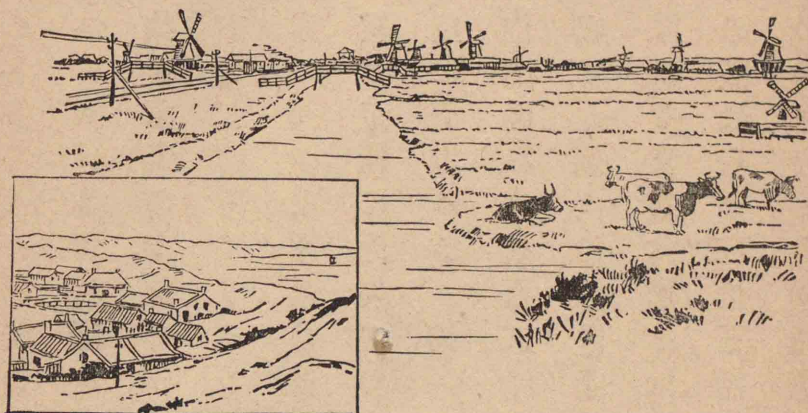
高地一

高地一

沿革

の名高し。セーヌ河の河口に臨めるルアーブルは、マルセイユに次げる貿易港なり。佛・白兩國の國境に近きリールは織物を産し、西南部のポルドーは葡萄酒を輸出す。ローヌ河の中流に臨みてリヨンあり、絹織物業の盛なる所なり。地中海岸のマルセイユは此の國第一の貿易港にして、我が國の汽船も定期に此の地に寄港す。其の東南海中にあるコルシカ島は、ナポレオン第一世の生地として知らる。佛蘭西には約百二十年前、ナポレオン第一世出でて外征に成功し、國內の混亂を鎮めて遂に皇帝の位に登り、次いで全歐洲を併呑せんとせしも、業半にして果さざりき。其の後此の國は我が明治三四年普魯西との戦に敗れて、國力衰へ、又此の戦役中共和政體となれり。爾來教育を盛にし、軍備を擴

位置・面積  
人口



岸海の蘭和

河運の蘭和

張して、國勢を挽回し、又海外に領土をも増加して、世界強國の一となり、更に世界大戰の結果、舊獨逸本國の西部及び阿弗利加の舊獨逸領の一部を收め、又西部亞細亞の舊土耳其領の一部に委任統治權を得たる外、各種の利權を得ることとなれり。

### 八 白耳義和蘭

白耳義和蘭の二國は獨佛英三國の間にある小國にして、其の面積は何れも我が九州より狭けれど

高地一

地勢・交通

も、人口は甚だ稠密なり。

是等二國は地勢概ね平坦にして、沿海の地方には海面より低き所多きが故に、砂丘と堤防とによりて海水の侵入を防ぐ。域内に於ては、ライン其の他の河流は數多の運河によりて相通じ、又鐵道は普く敷設せられたるを以て、交通甚だ便利なり。殊に和蘭が水運の便に富めると、白耳義が其の面積に比して鐵道の長きとは、共に比類稀なる所なり。

産業

和蘭は農業・牧畜共に發達す。殊に牧畜は最も主なる産業にして、バタ・チーズの産多く、其の海外に輸出せらるゝ額少からず。白耳義は鐵・石炭の産出に富みて、機械・硝子・織物等の製造盛に行はる。是等二國は何れも商業頗る盛にして、貿易額の多きこと世界屈指の地位にあり。白耳義の鐵・板硝子は、從



都邑

來我が國に輸出せらるゝ額少からず。白耳義の首府ブルッセルは國の中央に位し、市街華麗にして小巴里の名あり。其の北方にあるアンベルスは著名の貿易港にして、我が國汽船の航路に當る。

和蘭の首府ハーグは西部海岸附近にあり、其の東北には貿易港のアムステルダムあり。何れも運河によりて北海に通ずるの便あり。ライン河の下流に臨めるロッテルダムも亦著名の貿易港たり。

和蘭・白耳義の二國は古來相分合すること屢なりしが、約九十年前遂に分離して各獨立王國となり、以て今日に及べり。和蘭は嘗て大いに航海の業を奨励し、海外各地に領土を得、又一時東洋の貿易を其の掌中に收めしことあり。其の後勢

沿革

高地一

高地一

力漸く衰へたりと雖も、今なほ馬來諸島等に廣き領土を有す。白耳義は近時阿弗利加に廣き領土を有す。世界大戰中、其の國土の大部を獨逸軍に占領せられたれども、今や之を回復し、更に地を東方に擴め、國力の挽回に努む。

### 九 英吉利

面積・人口  
地勢

英吉利は大ブリテン島、アイルランド島の北部及び數多の島嶼より成る。面積は約一萬五千方里、人口は約四千三百萬にして、共に我が國に及ばざれども、海外にある領土を合すれば、其の總面積は世界陸地の約五分の一を占め、總人口は約四億に及ぶ。  
英吉利は山地多けれども、大ブリテンの東南部には廣き平野ありて、テームス河其の中を流る。海岸線は出入に富み、河

産業

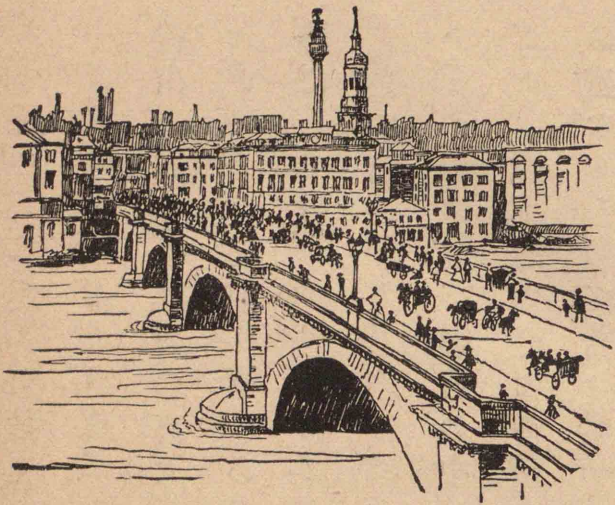
口概ね深くして、良港多し。  
 英吉利には各種の産業すべて盛なり。中にも最も盛なるは工業・商業・海運業とす。工業は豊富なる鐵・石炭を利用して各地に發達し、諸種の製品を出す。商業と海運業とは相待つて繁榮し、其の盛なること世界無比にして、商船の噸數も世界總噸數の四割を占む。輸出入の年總額は我が國のものに約五倍す。輸出品の主なるものは綿織物・綿絲・石炭・毛織物・鐵材及び鐵製品等にして、輸入品の主なるものは肉類・石油・綿麥類・其の他の食料品・羊毛等とす。其の取引は亞米利加合衆國・印度・佛蘭西等との間に最も盛なり。此の國は我が國の主要なる取引先にして、我が國へは藥品・毛織物・鐵材及び鐵製品、機械類等を輸出し、我が國よりは絹織物・澱粉・豆類・生絲・銅等

高地一

都邑

を輸入す。

首府倫敦はテムス河に跨り、其の人口凡そ四百五十萬、接續市街を合すれば七百萬を超えて、米國の紐育と並び稱せ



らるゝ世界最大の都會をなし、世界の商業・交通の一大中心たり。此の地は我が國より倫敦海路凡そ五十日の航程なれども、西比利亞鐵道を利用せば十六七日にて達するを得べし。倫敦の北方にあるケンブリヂ及び西方にあるオックスフォードは有名なる大學の

高地一

沿革

ある所にして、英吉利海峡に臨めるポーツマスは此の國第一の軍港なり。ポーツマスの西北にあるカーヂフは石炭の輸出港として其の名高し。

大ブリテン島の西岸にあるリバプールは倫敦に次ぐ貿易港にして、數多の航路によりて北米及び南米の諸港と相通じ、盛に綿を輸入し、之を綿布となして輸出す。其の東のマンチェスターは綿布製造の中心地にして、又東南方のバーミンガムは鐵工業の盛なる所なり。北部のグラスゴーは造船業の盛なるを以て著れ、エデンバラは學術の一中心地として知らる。

此の國は十六世紀の末、西班牙の海軍を破りてより漸く勢力を得、遂に和蘭に代りて海上の權力を握り、かくて世界到

高地一

位置・地勢  
産業

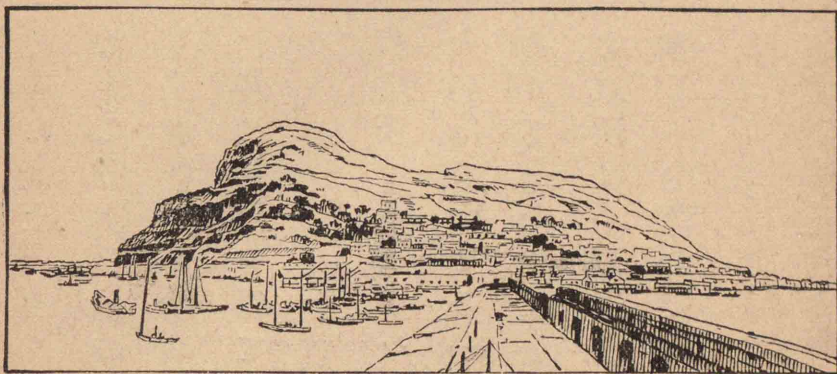
る處に領土を占めたり。世界大戰前に於て既に領土の廣き、海軍の強き、貿易の盛なる、何れも他の列國の及ばざる所なりしが、世界大戰の後更に阿弗利加・亞細亞・大洋洲の諸地方に新に利權を得て國力益々發展す。

十 西班牙・葡萄牙

西班牙はイベリヤ半島の大部を占め、葡萄牙は此の半島の大西洋に面せる一地方を占む。此の半島内には數多の山脈ありて、一大高原をなし、河川は概ね大西洋に注ぐ。灌漑の便ある所は小麥・玉蜀黍等を産し、沿海の地には葡萄・オリブ等よく生育す。葡萄酒は此の半島主要の輸出品たり。又高原のコルク・羊等も此の地方の主なる産物なり。此の半島には各種の鑛産物多けれども、交通不便の爲、鐵鑛の外、採掘未だ

都邑

ジブラルタル



ジブラルタル

盛ならず。鐵鑛は主として西班牙の北部に産し、從來多く海外に輸出せられしが、近時其の産地附近に製鐵業の漸く興るを見る。

西班牙の首府マドリードは此の國の中央に位して交通の要路に當り、葡萄牙の首府リスボンは西海岸にある天然の良灣に臨みて著名の貿易港たり。

ジブラルタル海峽に臨めるジブラルタルは英吉利に屬す。其の位置軍事上重要なが故に、堅固なる砲臺

高地一  
高地一

の設あり。

西班牙及び葡萄牙は夙に航海業を奨勵し、四百年前には海外に廣き領土を有し、其の國人は當時既に我が國にも來航して通商の途を開きたりき。然るに和蘭英吉利の漸く盛となるに隨ひ國勢次第に衰へ、其の領土も大部分之を失へり。

十一 伊太利

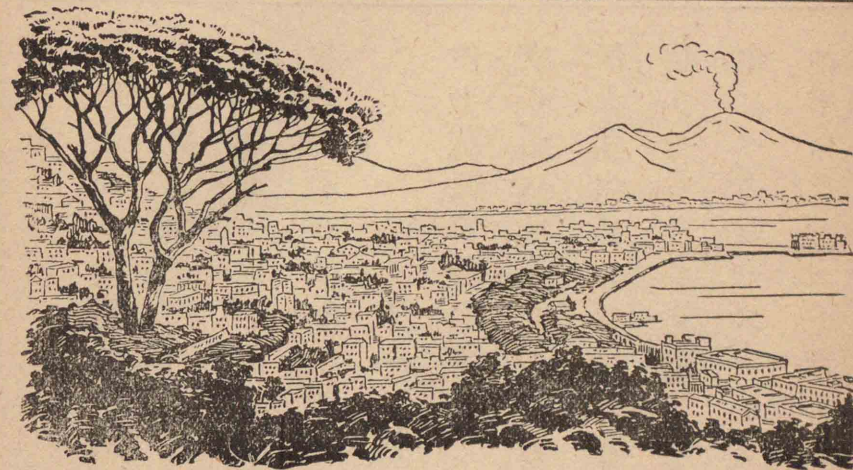
伊太利は伊太利半島とシシリヤサルヂニヤ等の島嶼より成り、面積約一萬九千方里、人口凡そ三千七百萬あり。

伊太利半島の脊梁をなせるアペニン山脈は、半島より更に延びてシシリヤ島に現る。此の山脈に沿ひて一火山脈通じ、中にヘスビヤス・エトナ等の名高き火山あり。半島到る處山地多けれども、北部のアルプ山脈とアペニン山脈との間に

沿革

位置・面積  
人口

地勢・産業



山火スヤビスベと街市のスルプーネ

は稍、廣き平野あり。此の平野は氣候温暖、地味肥沃にして、農作養蠶に適し、又工業も盛にして、國中の主なる産業地域をなし、小麥・米・生絲・綿織物・絹織物の産出多し。ミランは其の中心市場たり。其の他の地方にはオリブ・葡萄・葡萄酒を産し、オリブ油・葡萄酒の製造行はる。又所々より良質の大理石を出し、火山には硫黄を産す。生絲・綿織物・絹織物・葡萄酒等は此の國の主要輸出

高地一  
高地一

都邑

品たり。我が國よりは銅・生絲等を輸入す。伊太利人は一般に美術に長じ、繪畫・彫刻等の世界の模範たるもの少からず。首府羅馬は伊太利の中央に位し、昔の羅馬帝國の首府たりし所にして、宏大なる建築物を始め、歴史上の遺物甚だ多し。羅馬の東南ネーブルス灣に臨みてネーブルスあり、灣頭のベスピヤス火山を望みて風景頗る佳なり。北部地中海沿岸にゼノアあり、伊太利第一の貿易港たり。又北部アドリヤ海岸には西にベニス、東にトリエスト・ポラ等の良港あり。ベニスは古來重要なる港なり。トリエスト及びポラは何れも元、奧洪國に屬し、同國にとりては唯二個の海上への通路なりしが、世界大戰の結果、附近の地方と共に伊太利の領する所となれり。

マルタ

シシリー島の南にマルタ島あり、英吉利に屬し、軍事上の要地として著る。

沿革

伊太利の地は、古代羅馬帝國の本國にして、文化夙に開け、其の名史上に著る。現今の伊太利國は六十餘年前の建國に係り、爾來國勢發展して、世界強國の一に數へられ、阿弗利加には本國面積の約五倍に當る廣き領土を有す。更に世界大戰の結果、奧洪國の西部、南部の一部、西部亞細亞の舊土耳其領諸島の一部を讓受くるなど、一層國力の發展をなせり。

十二 バルカン半島諸國

位置地勢

バルカン半島は黒海とアドリヤ海との間に突出して、西南部は希臘半島をなし、東南部はダルダネル・ボスポロスの兩海峽を隔てて小亞細亞半島と相對す。バルカン半島の南部

高地一

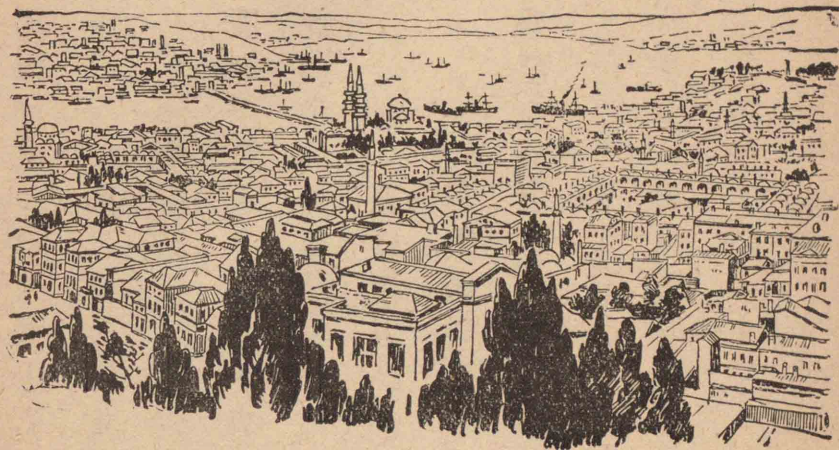
高地一

區分

は海岸線の出入著しく、又島嶼に富み、希臘半島と小亞細亞半島との間は多島海と稱せらる。内地には山脈連亘して、山岳丘陵到る處に起伏せるも、北部のダニユーブ河流域には稍廣き平野ありて、バルカン半島中主要の農産地となれり。此の半島は地勢複雑にして、諸種の住民割據し、數多の小國に分れて互に相争ひ、ひいて歐洲禍亂の基をなせしこと少からず。世界大戰の結果、是等諸國は領土増減して、各國勢に盛衰を來せり。而して現今希臘は南部を占め、ブルガリヤ、ルーマニヤ、ユーゴスラビヤ等の諸國は其の北方にあり。バルカン半島の産業は農業、牧畜を主とす。農産物には小麥、玉蜀黍等あり。ルーマニヤ、ユーゴスラビヤは其の主産地にして、ベルグラードユーゴスラビヤの首府、ブカレストルーマニアの首府等は其の中

産業

都邑



ルブノチンタスニコ

心市場たり。又南部にはばら油・果實・煙草を産す。希臘のサロニカ港は其の主なる輸出港たり。ルーマニヤよりは石油・金等の鑛産物をも出す。

土耳其の舊首府コンスタンチノブルは、ボスポロス海峽に臨みて黒海の關門をなし、歐亞連絡交通の要地たり。希臘の首府アテネは歴史上殊に有名なる所にして、古代の遺蹟多し。ベルグラード・ブカレスト・ソフィヤ

高地一

高地一

敬事(アフリカ)  
主眼  
人(オーストラリアン)  
本洲概観

位置・面積

地勢

地勢  
1. 高原状 (涼洲と比較)

2. 川

3. 湖 (南北に細長し)

4. 山 (火山)

池澤帯と大山

### 第四 阿弗利加洲 (三陸同位)

のガリヤ等も、バルカン半島の主なる都會なり。

阿弗利加洲は東半球の西南部にありて、大西洋と印度洋との間に位し、北は地中海を隔てて歐羅巴に對し、東北はスエズ地峽によりて亞細亞洲に連る。其の面積凡そ亞細亞の四分の三に當りて、世界第二の大陸をなす。

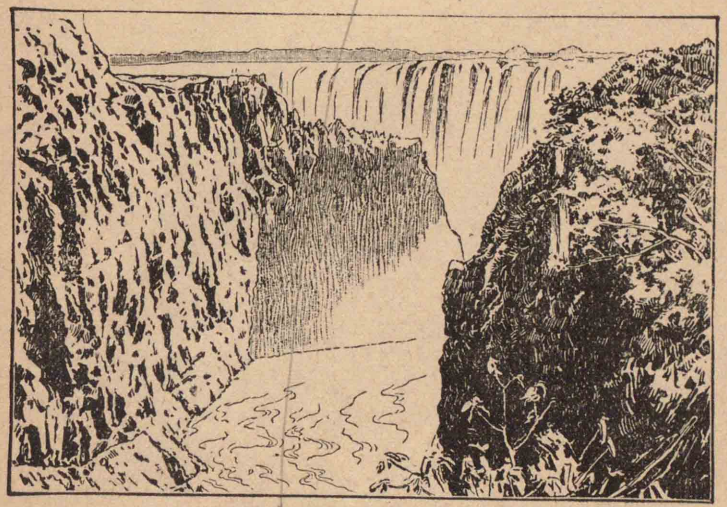
本洲の海岸線は出入甚だ少く、又近海は島嶼に乏し。されど印度洋にはマダガスカルと稱する大島あり。

本洲は地勢一般に高原状を呈し、南に高くして北に低く、サハラ沙漠一帯の地方には低くして平かなる所多し。山脈は概ね海岸に沿ひて連る。中にも東部の山地には火山脈の通

氣候ノ特長  
南北両手取  
（南カ）

氣候・産物  
（南カ）

中 1700 m  
高 76 m 105 m  
高カ、幅カ = ナイロ  
瀑布川大



布瀑ヤリトクビの河ジベンザ

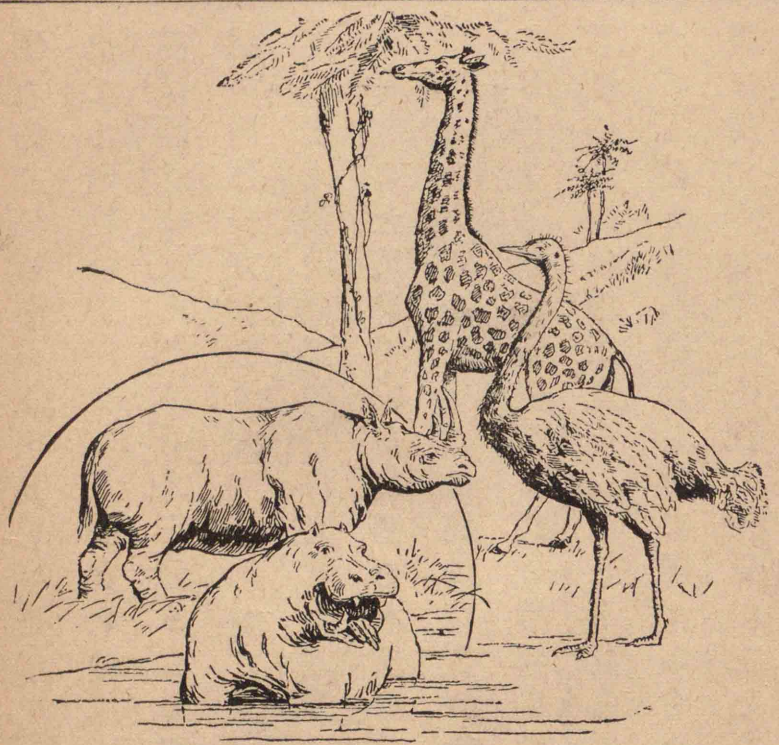
ずるありて數多の高峯其の中に聳え、地勢最も高峻なり。又此の山地には、大小の湖水、南北に並べるありて、ナイル河・コ  
ンゴ河等の源をなす。此の他  
なほ本洲の河川にはオレン  
ジ・ザンベジ・ニゼール等の大  
河あれども、多くは其の下流  
に急湍・瀑布ありて、海との連  
絡不便なるを以て、ナイル河  
以外は其の大なるに比し運  
輸の便を助くること少し。  
本洲は赤道の南北に亙りて  
大部分熱帯にあるが故に、一

高地一

雨と生物

沙漠と生物  
アフリカ特産  
以南カ

動物ハ沙漠



般に氣候甚だ暑くして、象・獅子・犀・ジラフ・駝鳥・河馬・鱒等の動

物多し。中部には  
降雨多くして大  
駝 鳥 森林をなせる所  
多けれども、これ  
より南又は北に  
至るに隨ひ、雨量  
河 次第に減じて、草  
馬 原又は沙漠をな  
し、住民少し。殊に  
北部のサハラ沙  
漠は其の面積本

高地一

（原）



産物

洲の約二割を占め、荒涼寂寞にして、唯オアシスに泉水湧き出でて植物の繁茂せると、少數の住民あるとを見るのみ。隊商は駱駝に乗りオアシスをたどりて、貿易に従事す。其の交通の困難一方ならず。

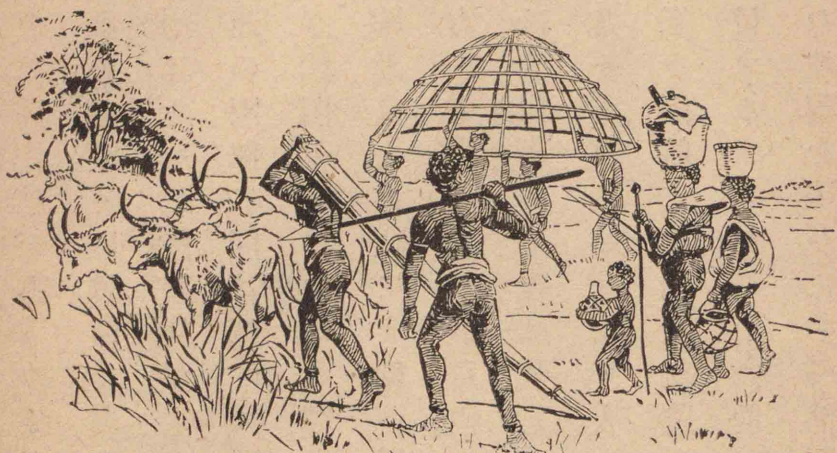
住民

然れども南北兩部の沿海河畔の地方は、氣候割合に温和にして、其の土地農業・牧畜に適し、本洲中、開發最も進歩せり。殊に埃及のナイル河畔には綿・煙草等の栽培、南阿弗利加聯邦には牛・羊等の飼養盛なり。此の聯邦には鑛業も發達す。本洲の住民は總數凡そ一億三千萬ありて、歐羅巴人種に屬するものと、阿弗利加人種に屬するものとあり。阿弗利加人種に屬するものは總數の三分の二を占め、其の皮膚暗黒色なるが故に黒人と稱せらる。多くは中部以南に住し、中に農

高地一

高地一

交通



黒人の風俗

業・牧畜に従事するものなきにあらざれども、概ね甚だ未開の状態にあり。歐羅巴人種に屬するものは、舊來主として北部の地方に住せしが、近世歐羅巴より南部其の他海岸の要地にも移住し、殆ど本洲全部の政治・産業等諸般の實權を握れり。列國は各、其の領土を始めとして本洲の開發に力をつくせるも、本洲の大部は地勢・氣候等の關係により、今なほ交通不便に

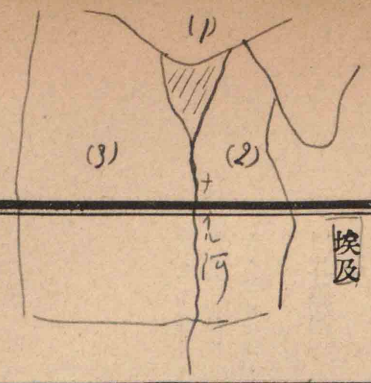
スエズ運河の交通

沿革

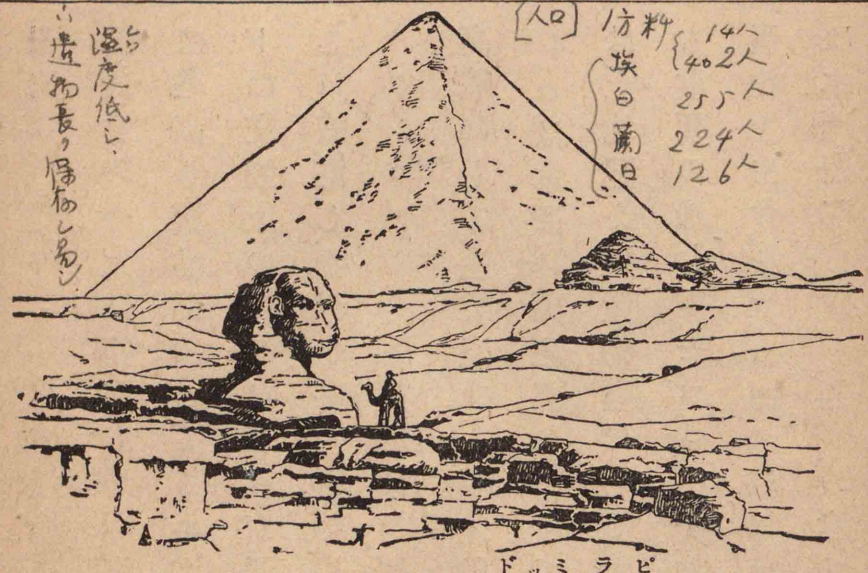
して、開拓普からず、唯埃及・南阿、及び其の他沿海・河畔には交通の便漸く開け、産業發達して、都邑多し。又埃及・南阿を聯結せんとせる縦貫鐵道も其の工事大いに進歩せり。海運も南北の兩部に開け、殊にスエズ地峽に通ぜるスエズ運河は、長さ約四十里に及び、東西兩洋間の交通に大なる便利を與ふ。埃及は太古既に文明の域に達し、又其の他の地中海沿岸地方にも早くより歐羅巴人に知られたる所あれども、サハラ沙漠以南の地理は久しく不明のまゝなりき。然るに本洲は凡そ五百年前、葡萄牙人來りて西海岸を探檢し、やがて喜望峯を回航して印度航路を開くに及び、大いに歐羅巴人の注目する所となり、十九世紀に入りては探檢家屢、到りて内部の地理を明かにし、英・佛・獨等の諸國は争ひて本洲の各地を

高地一

比形的に見て、(3) →  
 氣候(雨ナシ)  
 カイロ(一九九日)  
 日本(一四七)



埃及 99万方料(西格)  
 3554方km(人口)



人口 1方料 14人  
 402人  
 255人  
 224人  
 126人

温度低し  
 遺物長く傳へし

ドミラビ

スクニフス

分領せり。されば現今本洲の大部分は歐洲諸國の領土となりて、獨立國は僅に二三の小弱國あるのみ。埃及はナイル河の下流地方にありて、英吉利の保護國たり。ナイル河は夏毎に氾濫して、河畔の低地に肥えたる土を残すが故に、肥料を用ひずして多く穀物・綿等を産す。首府カイロは農産物の集散地にして本

英口と埃及  
實に上り英口、

傳口國ナリ

アビシニヤ・  
アルゼリ  
ヤ・モロッコ・  
リベリヤ・  
白耳義領コ  
ンゴ

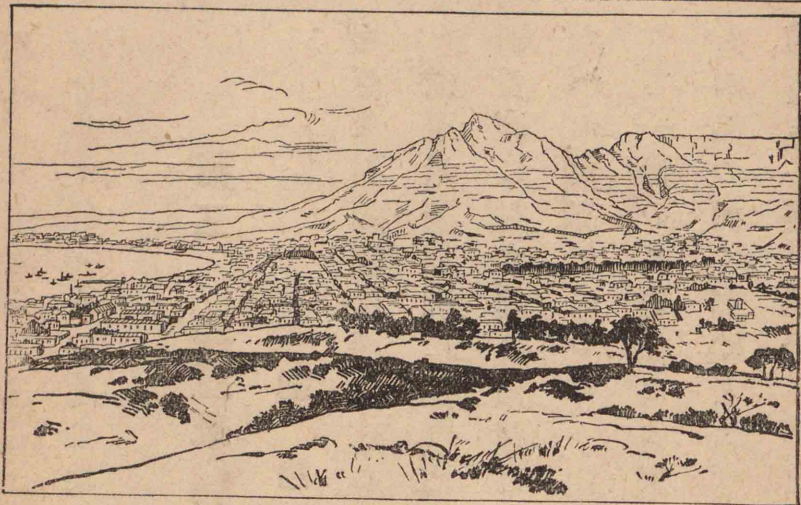
政治的  
佛 莫

洲第一の都會なり。其の近傍にはピラミッド・スフィンクスなど  
古代文明の大遺物多し。地中海に臨めるアレキサンドリヤ  
は名高き貿易港にして、スエズ運河の北端なるポートサイ  
ドは交通上の要地なり。我が國の歐洲航路の汽船も常にこ  
こに寄港し、我が小麥粉等をおろし、彼の地の綿を積込む。  
アビシニヤは埃及の東南にある獨立國なり。其の地勢甚だ  
高峻にして、産業盛ならず。住民亦開けず。アルゼリヤ及びモ  
ロッコは本洲の西北部にありて、地中海に臨む。アルゼリヤ  
は土地肥え、農産物豊にして、本洲にある佛蘭西の領土中最  
も重要な地たり。モロッコの大部は佛蘭西の保護國にして、畜  
産物を出す。モロッコの北海岸は軍事上の要地なり。リベリヤ  
は本洲西部に位し、黒人の建てたる獨立國なり。白耳義領コ

高地一

高地一

南阿弗利加  
聯邦



ンウタプーケ

ンゴはコンゴ河流域にありて、  
ゴム・象牙等を産す。  
南阿弗利加聯邦は、本洲に於け  
る英吉利の領土中最も重要な  
所にして、南部には羊毛、駝鳥  
の羽毛等、北部には金、金剛石等  
の産出多し。我が國へは羊毛を  
輸出し、我が國よりは綿製品を  
輸入す。ケープタウンは此の聯  
邦の一大門戸にして、歐洲を始  
め諸大陸に航路を通じ、交通・貿  
易盛なり。其の東北にあるキン

我トアソカ  
大軌中

バーリーは金剛石の産地として知られ、更に東北にあるプ  
レトリヤは北部の産金地方の中心都會なり。

### 第五 北亞米利加洲

#### 一 總論

位置・面積  
大陸

北亞米利加洲は西半球の北部にあり。南はパナマ地峽を以  
て南亞米利加洲に連り、西北はベーリング海峽を隔てて亞  
細亞洲に對す。其の面積は約百六十萬方里あり。

本洲の西部にはロッキー山脈及び之に並べる數多の山脈あ  
りて一帯の高地をなす。東部にも亦アパラチャ山脈あれど  
も、西部の如く高峻ならず。此の山脈の東なる大西洋岸には  
稍、廣き一帯の平野あり。東西兩山地の間は本洲を縦貫する

地勢

カイカウ瀑布  
アリヤ池  
カカウ  
イセナ  
イセナ有利

高地一

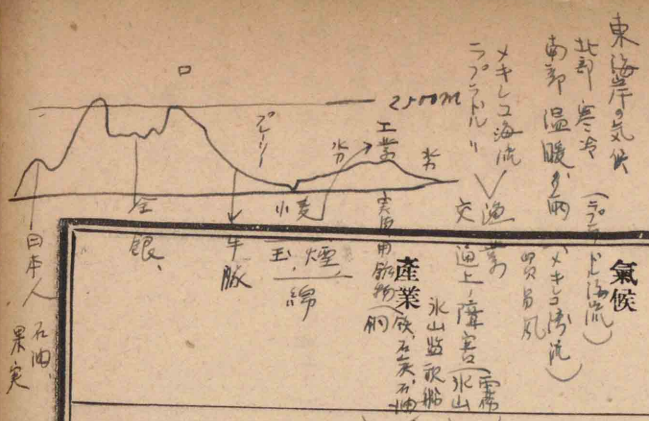
蛇行  
水電等

五大湖の価値  
の交通上は便利  
但し冬は氷

大平原にして、スペリオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オンタ  
リオの五大湖を始め湖沼甚だ多く、又ミシシピの如き大河  
あり。五大湖の水は相連り、遂にセントローレンス河となり  
て大西洋に注ぐ。エリー・オンタリオ兩湖の間には名高きナ  
イヤガラ瀑布あり。ミシシピ河は源をスペリオル湖の西方  
に發し、ロッキー山脈より出づるミズーリ河を合せて南に流

河川、価値、橋、運、交通上  
一、自然的原因  
二、傾斜、水深  
三、位置、地形  
二、氣候、降水、氷雪、水量、水電

る。其の長さ凡そ一千七百里、世界第一の長流なり。北に流  
太平洋岸の海岸は大いなる出入に乏しけれども、大西洋及  
び北極海の沿岸は出入著しくして、南に墨西哥灣、北にハド  
ソン灣あり。墨西哥灣の東方には大小數多の島嶼あり、之を  
西印度諸島といふ。ハドソン灣以北にも島嶼多けれども、寒  
氣烈しきが故に、住民甚だ稀なり。世界第一の大島たるグリ



氣候

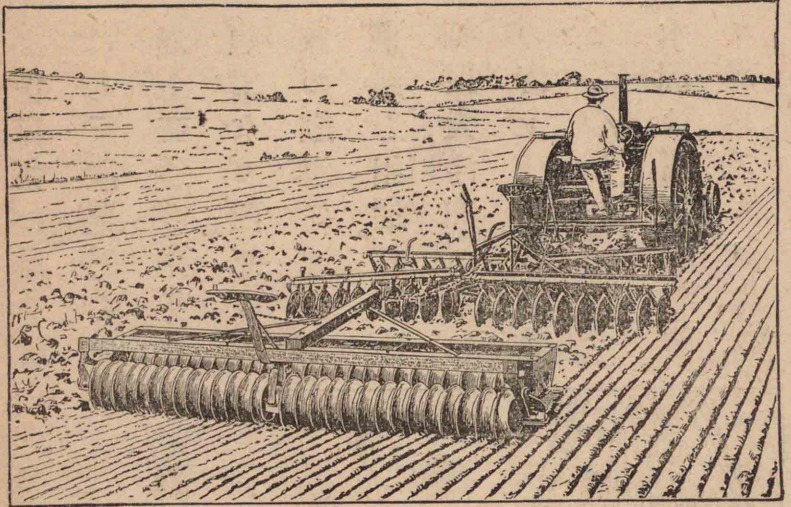
インランドの如きも、唯南部の海岸に少數の住民あるに過ぎず。本洲の西北隅、太平洋と北極海との間に挟まれたる所をアラスカ半島と名づく。此の半島と亞細亞とは狭きベリング海峡を隔つるのみ。

氣候は所によりて一様ならざれども、一般に西海岸は東海岸よりも暖にして、内地は寒暑の差多し。又西部の高地には雨少くして草地多く、中には沙漠をなせる所あり。

西海岸の山地及び東北部地方には、森林多くして林産物に富み、又野生の獸類少からず。中部の平原中、加奈陀南部以南は土地大いに開けて農業・牧畜盛なり。農産物の主要なるは本洲原産の玉蜀黍・煙草、他の大陸より移植せられし小麦・綿等にして、畜産物の主要なるは牛・豚・羊・馬等なり。本洲は六大

高地一

住民 交通



洲中、鑛物最も豊富にして、鐵・石炭・石油・銅・金・銀等盛に採掘せられ、工業随つて發達し、交通貿易も亦發展す。又北部の東西の近海は水産物に富む。

洲本の中平部原に於ける耕地の地ならし

人口は約一億四千萬あり。其の多數は歐羅巴人種にして、其の他は阿弗利加より移されし黑人、及び亞細亞人種、亞米利加インヂヤン・エスキモ一等なり。

本洲の東部は水陸共に交通の便に富み、殊に鐵道の發達

鉄道 横断  
 航路  
 運河 (パナマ)  
 湖沼  
 交通高田の天  
 産物  
 文化

沿革

は世界稀に見る所  
 にして、歐羅巴との  
 海上交通も亦甚だ  
 頻繁なり。西部は數  
 條の鐵道によりて  
 東部と相通じ、又亞  
 細亞・大洋洲・南米と  
 の海上交通も益、盛  
 ならんとす。  
 本洲は四百餘年前、  
 コロンブスが其の  
 一部を發見せし以來、歐羅巴の諸國人次第に入來りて、多く



ンヤダンイ加利米亞

高地一

高地一

移民多し  
 ① 気候 温  
 ② 土地 大  
 ③ 天産物 富  
 傾向  
 従来一サウト  
 近來一ス  
 制限  
 有る人

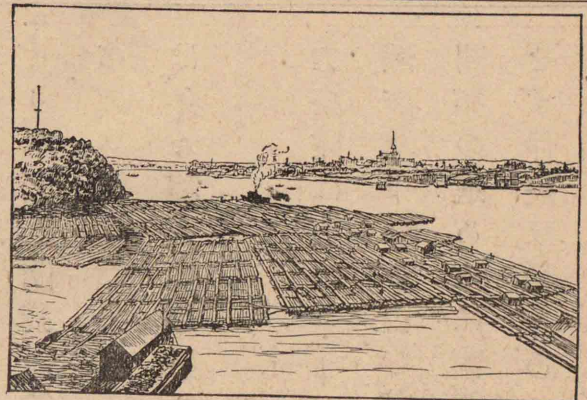
位置、面積、人口  
 英、徳、瑞、米、ロ、化  
 多の移民は諸外國より渡來す。殊に亞米利加合衆國の如きは、年々移入民の數、數十萬を算す。

二 加奈陀

加奈陀は東のニューフランド島と共に英吉利に屬し、本洲の北半部を占む。其の面積凡そ六十二萬餘方里あれども、開拓の進めるは南部一帶の地方なれば、人口は九百萬に達せず。住民は種々あれども、概ね英吉利・佛蘭西より移住せしものの子孫にして、北部には少數のニスキモ川あり。北部は寒氣極めて烈しくして凍原をなせるが故に、産業の

産業

都邑

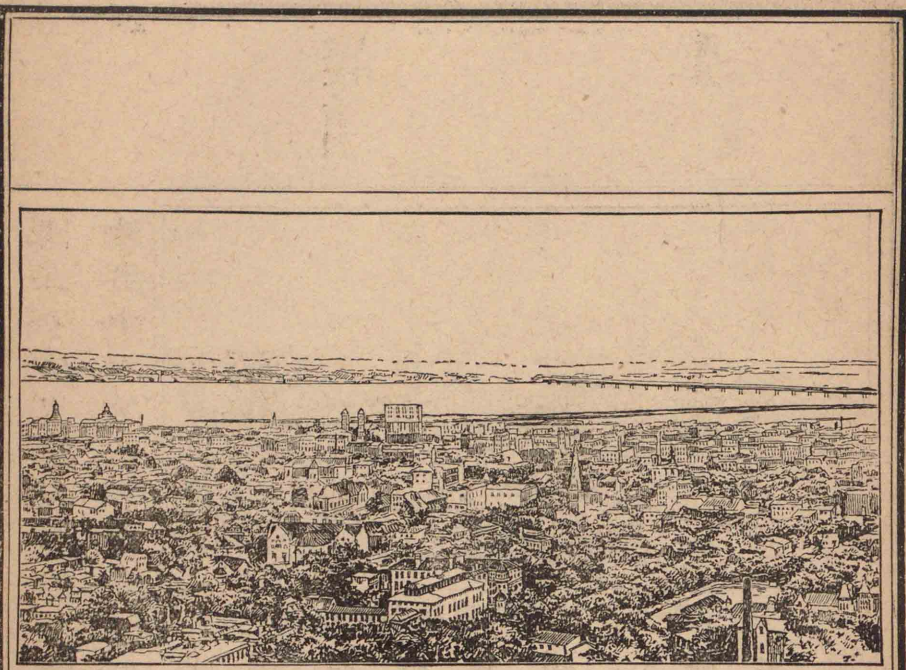


見るべきものなけれども、南部一帯の地方は農業、牧畜盛に行はれ、林産物、鑛産物にも富む。されば製粉、製材、製鍊、製紙等の工業、水力を利用して頗る發達し、

加奈陀東南部に於ける筏

其の製品は小麦と共に主要輸出品となれり。東西の近海は水産業盛にしてたらにしん等の漁獲高多く、殊にニューファンドランドの近海には淺瀬ありて、魚族ここに群集するを以て、世界に名高き大漁場となれり。南部の五大湖沿岸とセントローレンス河の支流に臨み、木材の集散盛なり。

高地一



モントリオールとセントローレンス河

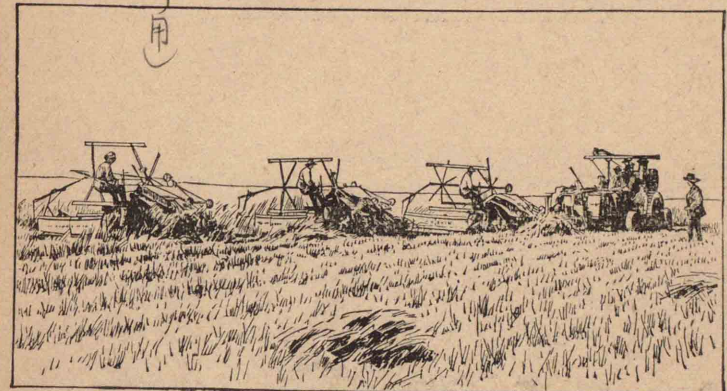
其の東方のモントリオールはセントローレンス河中の島上にありて、加奈陀第一の大港市をなし、内外水陸交通の中心地たり。大洋を交通する汽船も自由。此の港に出入す。ハリファクスは大西洋岸の不凍港にして、太平洋岸のバンクーバーと共に加奈陀横斷鐵道の兩端をなす。バンクーバーは太平洋航路の重要なる港にして、我が國の諸港と定期の航路を通じ、我が

高地一

特民  
 日米輸入口開港  
 日米輸入口開港  
 日米輸入口開港

位置・面積・人口

産業  
 (分布圖・利用)



本洲中部平原に於ける小麦の收穫

國よりは絹織物・茶等を輸入し、我が國へはパルプ・木材・鐵を輸出す。バンクーバーの北にプリンスルーパートあり、亦水陸交通の要地なり。

三 亞米利加合衆國

亞米利加合衆國は、大西洋岸より、太平洋岸に亘れる中部一帯の地を占め、なほアラスカ半島・布哇諸島等を領す。面積凡そ六十萬方里、人口凡そ一億數百萬あり。

此の國の中部平原の地方は、農業・牧畜極めて大規模に行はれ、小麦・玉蜀黍・綿・煙草の産額、牛・豚の頭數の多き

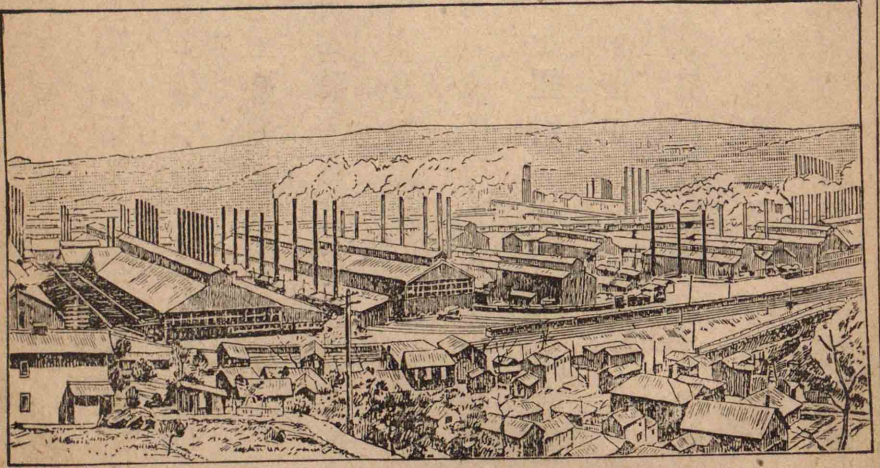
高地一

平原  
 高地  
 世界  
 天  
 地  
 小  
 雨  
 乾  
 草

工業  
 ① 水力  
 ② 石油  
 ③ 炭素  
 ④ 銅  
 ⑤ 鉛  
 ⑥ 鋅  
 ⑦ 鉄  
 ⑧ 鋼  
 ⑨ 綿  
 ⑩ 絹  
 ⑪ 茶  
 ⑫ 糖  
 ⑬ 紙  
 ⑭ 布  
 ⑮ 皮革  
 ⑯ 陶器  
 ⑰ 玻璃  
 ⑱ 漆  
 ⑲ 硝子  
 ⑳ 燐  
 ㉑ 硫黄  
 ㉒ 砒素  
 ㉓ 汞  
 ㉔ 錒  
 ㉕ 錒  
 ㉖ 錒  
 ㉗ 錒  
 ㉘ 錒  
 ㉙ 錒  
 ㉚ 錒  
 ㉛ 錒  
 ㉜ 錒  
 ㉝ 錒  
 ㉞ 錒  
 ㉟ 錒  
 ㊱ 錒  
 ㊲ 錒  
 ㊳ 錒  
 ㊴ 錒  
 ㊵ 錒  
 ㊶ 錒  
 ㊷ 錒  
 ㊸ 錒  
 ㊹ 錒  
 ㊺ 錒

米人、世界  
 米人、世界  
 米人、世界

こと世界無比にして、殊に小麦・綿は廣く世界の各地に供給せらる。又國內一般に鑛産物に富み、殊にアパラチャ山地と五大湖沿岸の地方とロッキー山脈の地方とは、鐵・石炭・石油・銅・金・銀等の産額甚だ夥し。是等鑛産物の豊富なることは延いて工業の發達を促し、鐵其の他の製鍊綿絲紡績・機械の製造・製粉等各種の工業甚だ隆盛をいたせり。外國貿易亦隨つて盛にして、其



ピッツバーグに於ける鐵製所



都邑

の額の多きこと英國に次ぐ。輸出品の主なるものは鐵鋼及び其の製品、肉類、麥類、綿等にして、輸入品の主なるものは砂糖、羊毛、生絲、藥品類、ゴム、革類等とし、英本國、加奈陀等との貿易最も盛なり。合衆國は我が國の重要なる取引先にして、鐵材及び鐵製品、綿、機械、藥品、石油等を我が國に輸出し、生絲、豆類、植物性油、羽二重、茶等を我が國より輸入す。

大西洋岸の平野は國內にて最もよく開けたる所にして、繁盛なる都會多し。其の最も大なるを紐育とす。紐育は人口凡そ五百餘萬、倫敦と並び稱せらるゝ世界の都會にして、歐米諸國の港と航路相通じて工業貿易盛に行はる。其の東北にあるポストンは主要の貿易港にして、又學藝の盛なる所なり。更に其の東北にあるポーツマスは日露講和條約の締

高地一



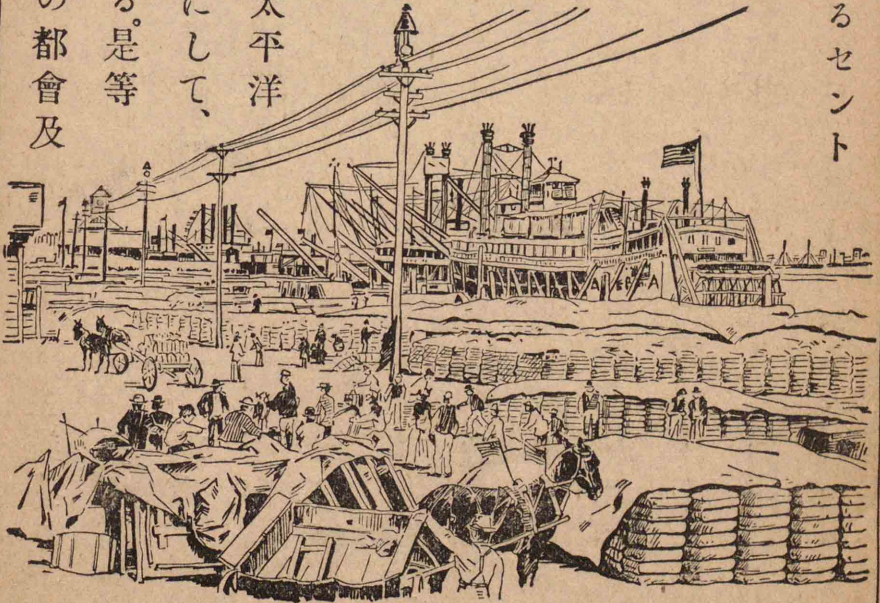
紐育の市の街

結地たり。紐育の西南にあるフィラデルフィヤは工業盛にして、

ゴあり、此の國第二の都會にして、穀物、肉類の市場なり。ミ

多く石油を輸出す。其の西南に首府華盛頓あり、西に鐵工業地のピッツバーグあり。中部平原にはミシガン湖畔にシカ

シシッピ河の中流に臨めるセントルイスは、中部の主なる一市場にして、下流に臨めるニューオーリヤンスは綿の輸出多し。太平洋岸にはシャトル・サンフランシスコ(桑港)・ロサンゼルス等の港市あり。何れも大陸横断鐵道と太平洋航路との主なる接續地にして、我が國汽船の航路に當る。是等の港市を始め太平洋岸の都會及



出輸の綿のニューオーリヤンス

ロスアンゼルス  
日人、支那、カリフォルニア人  
七千人(新日人)

加州問題(カリフォルニア)  
反米論

加州問題(カリフォルニア)の歴史  
加州問題(カリフォルニア)の歴史

加州問題(カリフォルニア)の歴史

加州問題(カリフォルニア)の歴史

沿革

加州問題(カリフォルニア)の歴史  
加州問題(カリフォルニア)の歴史

び其の附近には我が國人の在留するもの甚だ多し。合衆國の地はもと歐羅巴諸國に分ち領せられしが、今より約百五十年前、大西洋岸なる英國殖民地の住民協同し、ワシントン(ワシントン)を戴きて獨立を圖り、共和國を建てし以來、國勢次第に隆盛に向ひて、遂に現今の如き廣大富強なる國家を形成し、世界の五大強國の一として雄飛するに至れり。

四 墨西哥・中央亞米利加諸國・西印度諸島

墨西哥

墨西哥は亞米利加合衆國の西南に接し、東は墨西哥灣に臨み、西は太平洋に面す。其の面積約十三萬方里あり。此の國はもと西班牙の領土たりし所にして、住民は西班牙人、土人及び其等の雜種より成り、總數凡そ一千五百萬に及ぶ。此の國は一大高原にして、海岸に狹き平野あり。南部は熱帶

一大高原

位置、高度、南部比較

氣候

海岸(水車)

大干(絶望)

湿度砂

單調(天衣良好)

第五 北亞米利加洲

四墨西哥中央亞米利加諸國・西印度諸島

百十二

氣候

垂直的(三帶)

1. 平野(熱) 湿度(不健康)

2. 高原(干) 湿度(溫和) 健康

3. 山岳(寒) 湿度(多) 農業

石油(米ロニク)

瓦斯(燃料)

煤(燃料)

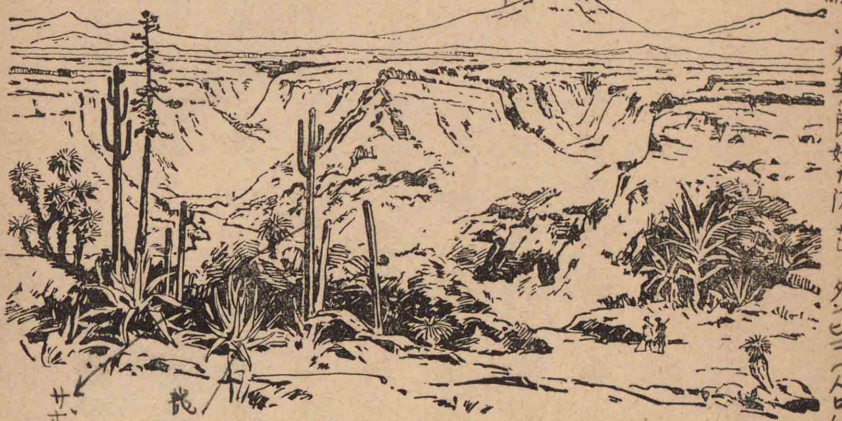
印(工業) 口(防上) 電(大)

英(米) 石(油)

日(石) 油

鐵道

中央亞米利加諸國



墨西哥高原

に入るを以て、海岸の平地は一般に炎熱甚だしけれども、内地の高原は氣候概ね溫和なるが故に、住民の多くは此の高原に住居す。首府墨西哥の如きは海面上七千尺の高所にあり、住民の生業は鑛業及び農業を主とし、石油・銀の産出甚だ多し。東南部にテワンテペク地峽あり、東西兩洋を連絡する鐵道の通ずるありて、交通上の要地をなす。中央亞米利加は墨西哥の東南

高地一

高地一

パナマ運河

運河の過程

レセブス(先)

氣候(自然條件)

人間の力

地質(硬)

氣候(惡)

飲料(水)

費用(多)

合(社) 内(部) 競争

計(算) 的(ト) 長(ク)

運(河) 的(ト) 長(ク)

西(印) 度(諸) 島

開(門) セ(ル)

兩(岸) 各(8) Km

米(ロ) 運(送) 力(下) 二(三)

十(一) 四(時) 間

三(個) 値

一(文) 通(一) 海(運) 交(通) 時(間) 短(縮)

二(商) 易(上) 一(一)

三(通) 貨(物)

四(海) 岸(林) 鉄(石) 炭

五(橋) 梁(鉄) 道

六(高) 港(登) 陸

に連れる細長き地方にして、面積凡そ墨西哥の四分の一に當る。此の地方は嘗て西班牙の領土なりしが、今は六小共和國と英吉利の領土とに分る。其中パナマ共和國は有名なパナマ地峽のある所にして、此の地峽を横斷するパナマ運河の開通せられてより、益々重要な地位を占む。西印度諸島は墨西哥灣口より東南に連りて、南北兩亞米利加大陸との間にカリブ海を抱く。此の諸島はもと西班牙の領土なりしが、キューバ島は近年獨立して共和國となり、其の他は概ね英・佛・米等の諸國に屬す。キューバ島は此の諸島中最も大にして、又其の土地よく開けて、多く砂糖・煙草を産す。

第五 北亞米利加洲

四墨西哥中央亞米利加諸國・西印度諸島

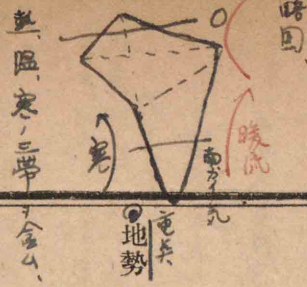
百十三

ハワイ(群) 島(海) 運(送) 便(利)

西(南) 兩(海) 運(送) 便(利)

日(中) 運(送) 便(利)

① 地勢 ② 気候 ③ 住民



位置・面積

### 第六 南亞米利加洲

南亞米利加洲は北亞米利加洲の南に連りて、大西洋と太平洋との間にあり。其の面積は北亞米利加洲より稍小さくして、約百二十萬方里あり。

本洲は地勢上、東西中の三部に分る。西部にはアンデス山脈太平洋岸に沿ひて南北に連り、東部にも一帯の山地ありて、其の間にある中部は大平原をなす。アマゾン・ラプラタ等の大河は、此の平原を流れて大西洋に入る。其の流緩にして交通に適すれども、其の利用なほ未だ盛ならず。アマゾン河は、本洲は大部分熱帯中にあるを以て、一般に気温高く、又雨多くして植物よく生育し、殊にアマゾン河の流域には大森林

高地一

高地一

④ 気候・産業

① 地勢 ② 気候 ③ 住民

① 地勢 ② 気候 ③ 住民

① 地勢 ② 気候 ③ 住民



アマゾン河の畔の森林

アマゾン河の畔の森林あり。本洲は珈琲・カカオ・ゴム等を産すること多く、又南部には羊・牛等盛に飼養せられ、西部の高原にはリマ・アルバカ等飼養せらる。西部の地方は銀・硝石等に富めり。住民は其の總數凡そ六千萬ありて、本洲の面積に比すれば甚だ少し。住民の主なるものは、古く西班牙・葡萄牙より移住せし白人の



分ち領す。

地方はトホロ等あり  
●伯刺西爾

ごら、一天聖  
裁法のもの  
例九(南洋)九割

砂糖、コム、カオチ、カオチ、カオチ  
の移民、奨励  
①移民、奨励  
②移民、奨励  
③交通、刷新  
移民  
人口増、四三一人

伯刺西爾は本洲中の最大國にして、其の面積五十五萬方里、人口凡そ三千萬あり。此の國の西北部たるアマゾン河の流域は暑さ烈しくして、雨多く、到る處に森林ありて、ゴムを産すれども、住民甚だ稀なり。されど東南部は氣候溫和にして、土地よく開け、珈琲・砂糖・カカオ等を産すること多し。殊に珈琲は其の産額世界第一に位す。サンパウロは珈琲産地の中心市場として著れ、サントス港は珈琲の輸出多きを以て知らる。首府リオデジャネイロは此の國の大門戸にして、歐洲北米の諸港と航路相通ず。此の國の東南部には、近時我が國人の移住して珈琲の栽培に従事するもの少からず。パラグアイ・ウルグアイの二國は伯刺西爾の西南に接する小國

砂、コム、カオチ、カオチ、カオチ  
の移民、奨励  
①移民、奨励  
②移民、奨励  
③交通、刷新  
移民  
人口増、四三一人

移住可能(現地)より白人を過す、日本を過る氣候

高地一

〔中〕セボロ  
改在、五万人  
家族移民、信  
サトス、セボロ  
家族移民、信  
サトス、セボロ

亞爾然丁

西洋岸の良港なり。  
亞爾然丁は本洲の大西洋岸の南部を占め、アンデス山脈によりて智利と境す。氣候概ね溫和にして、平野遠く連り、農業・牧畜の盛なること本洲第一に位し、小麥・羊毛等の輸出甚だ多し。首府ブエノスアイレスはラプラタ河の河口に臨み、本洲第一の大都會にして、貿易甚だ盛なり。本洲の

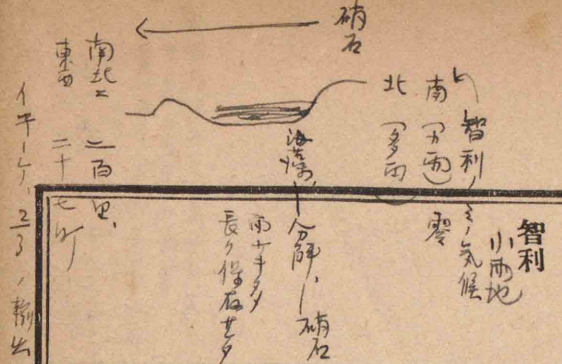


場革製の丁然爾亞

亞爾然丁は本洲の大西洋岸の南部を占め、アンデス山脈によりて智利と境す。氣候概ね溫和にして、平野遠く連り、農業・牧畜の盛なること本洲第一に位し、小麥・羊毛等の輸出甚だ多し。首府ブエノスアイレスはラプラタ河の河口に臨み、本洲第一の大都會にして、貿易甚だ盛なり。本洲の

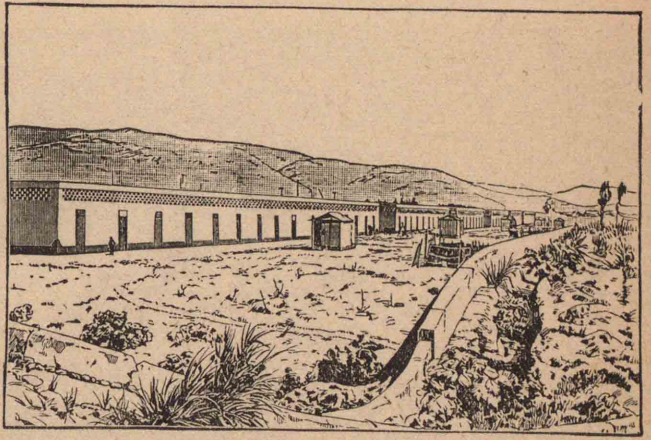
→(位、区者)  
移民、奨励

- 1. 海岸
- 2. 長さの長い
- 3. 鋸曲山脈 (天山多し)
- 4. 銅
- 5. 山脈
- 6. 地震 温泉



硝石、始より、大業、化學工業の上、肥料として用ひられ、茶園に用ひらる。

ボリビヤ、秘露・エクス、アドル、近時石油、交際せり、アリ。



秘露に我が國の村落

品にして各國へ輸送せらる。其の我が國に來る額亦少からず。首府はサンチャゴといふ。其の西北のバルパライソは太平洋岸の良港にして、本洲の横斷鐵道の西端に當る。又我が

横斷鐵道は此の地に起り、アンデス山脈を横ぎりて太平洋岸に達す。此の國は我が國より綿織物、綿絲、絹織物等を輸入し、我が國へは羊毛を輸出す。  
智利は太平洋に面せる細長き國にして、硝石、銅等の鑛産物に富み、又其の中部よりは農産物を出す。中にも硝石は此の國第一の輸出

日本列島、長さ、日本

高地一  
高地一

國の汽船もこゝに定期航路を通ず。

ボリビヤは智利の東北内地に位し、秘露エクアドルの二國は相並びて太平洋に臨む。秘露は多く銀を産し、ボリビヤは錫を産す。秘露の首府はリマといひ、エクアドルの首府はキトーといふ。キトーは赤道附近にあれども、海面上九千餘尺の高地に位せるを以て氣候温和なり。カイヤオは秘露の門戸にして我が國汽船の航路に當る。

高等小學地理書 卷一 兒童用終

大正十四年十一月十六日修正印刷  
大正十四年十一月二十日修正發行  
大正十四年十一月廿一日翻刻印刷  
大正十四年十二月十九日翻刻發行

高等小學地理書卷一 兒童用一

臨時定價 金拾壹錢

孫

著作權所有

著作兼  
發行者

文  
部  
省

翻刻發行  
兼印刷者

東京書籍株式會社

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地

代表者

石川正作

印刷所

東京書籍株式會社工場

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地

發賣所

東京市麴町區飯田町一丁目三番地  
株式會社  
國定教科書共同販賣所

大正十四年十二月一日  
文部省檢査濟

參考書

栗原寅「改造世界地理精説」大同館



文庫

25

1558

広島大学図書

2000014558

